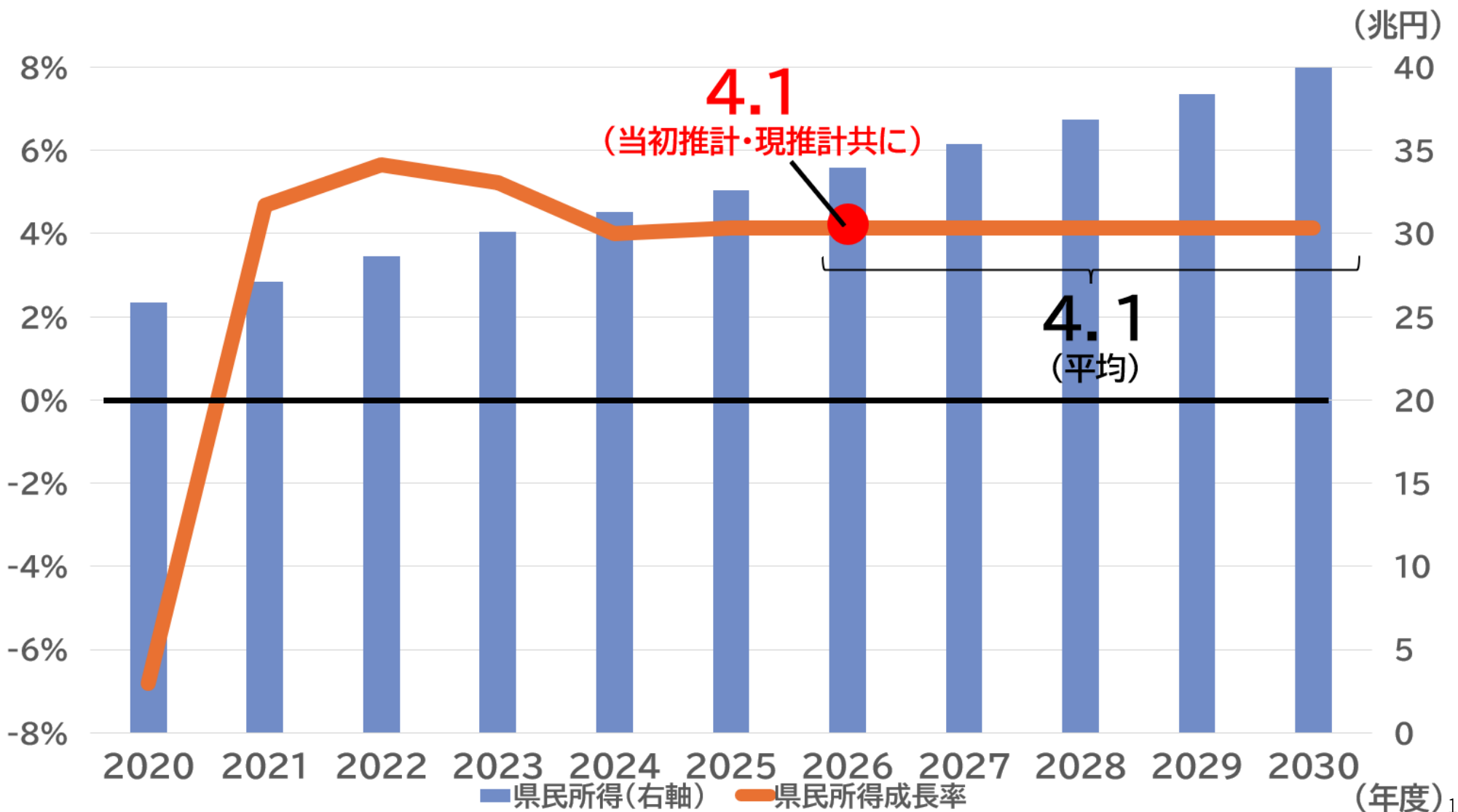


(1) 「あいち経済労働ビジョン2026-2030」における各指標の状況と今後の取組について

目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

目指すべき姿

県民所得の成長率

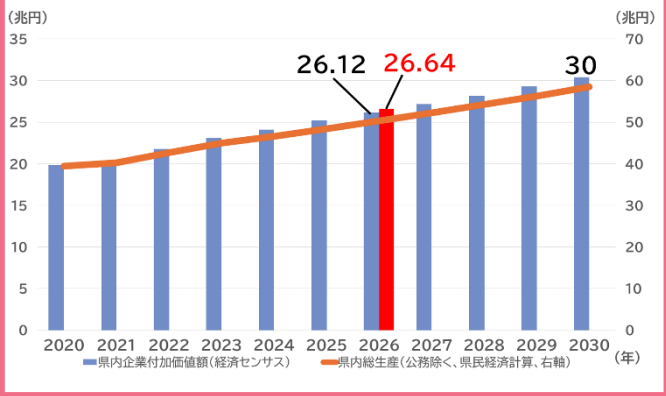


目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

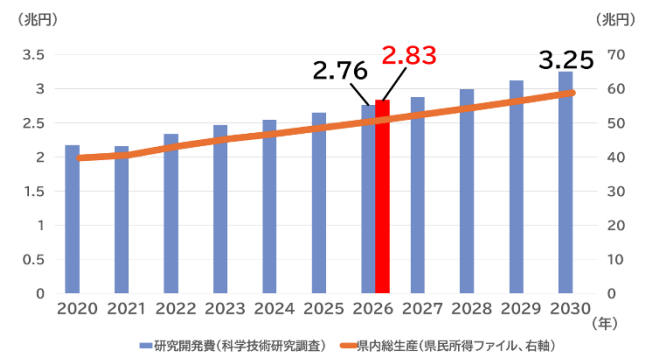
イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

※2025/2026年(度)の数値については、左側がビジョン策定時の推計値、右側（赤）が実績値(2025)または現在の推計値(2026)

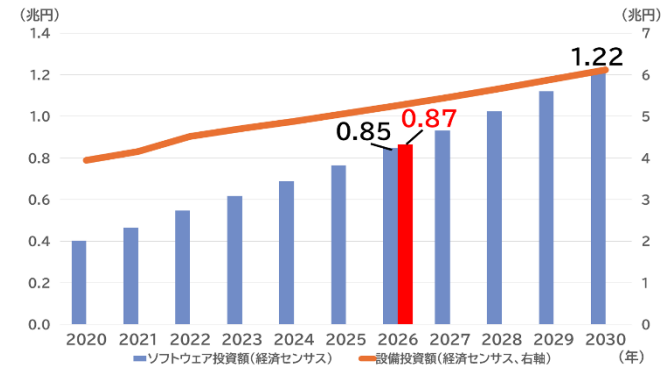
I 県内企業の付加価値額



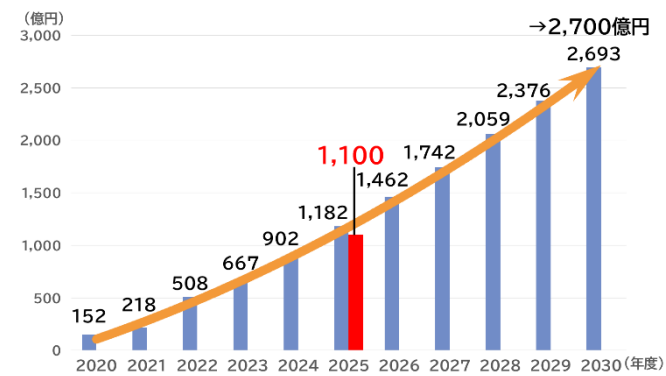
I-2① 県内企業の研究開発費



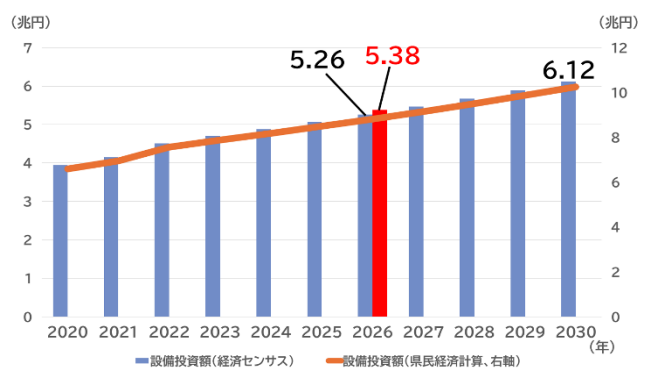
I-3① 県内企業のソフトウェア投資額



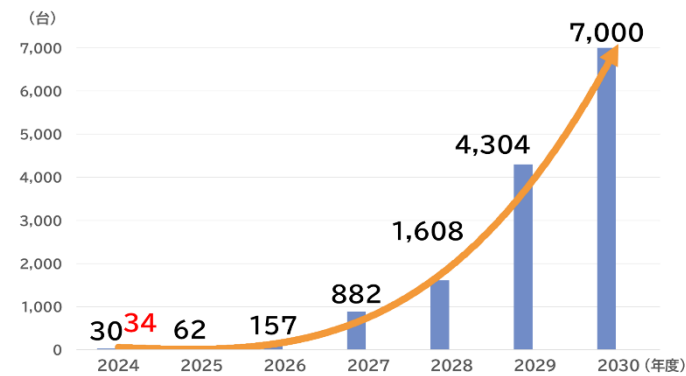
I-1 スタートアップの資金調達額 (累計)



I-2② 県内企業の設備投資額



I-3④ FC商用車の導入件数(累計)



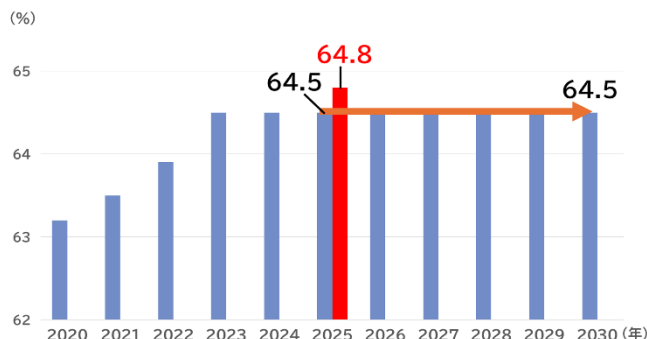
※ 2024年度実績までしか公表されていない

目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

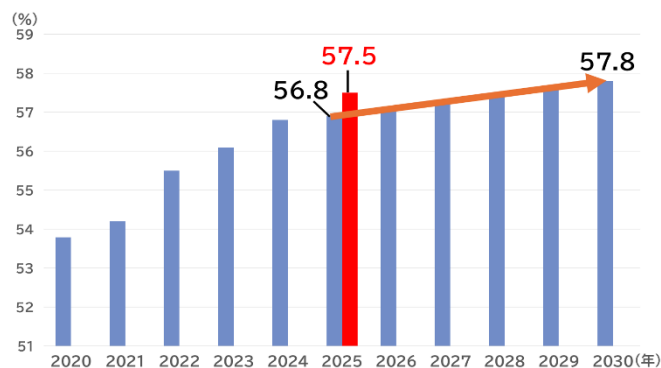
II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

※2025年(度)の数値については、左側がビジョン策定時の推計値、右側(赤)が実績値

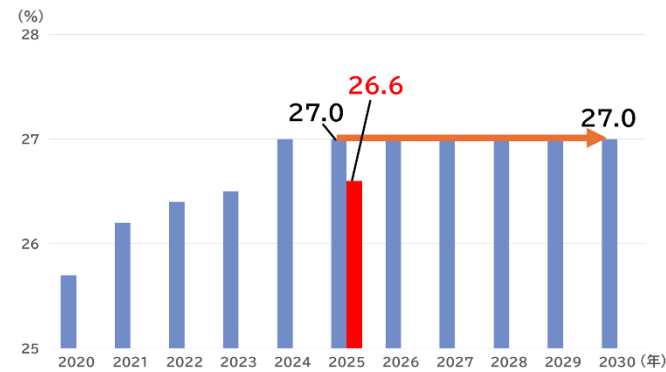
II 就業者



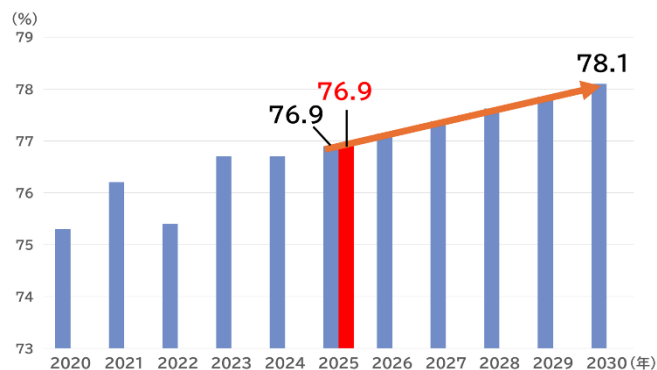
II-1② 女性の就業者



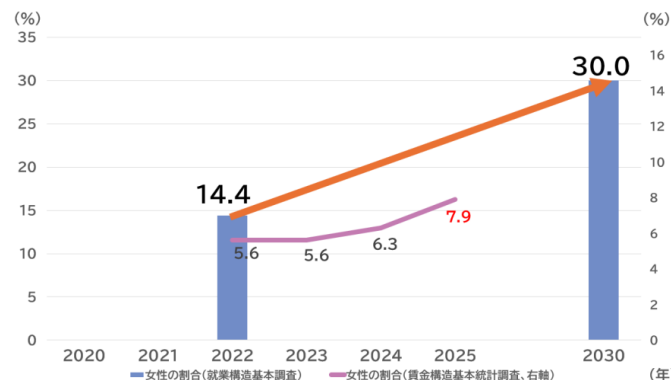
II-1④ 高齢者(65歳以上)の就業者



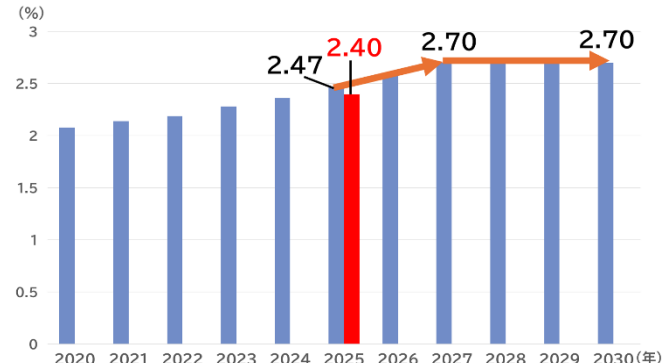
II-1① 若年者(45歳未満)の就業者



II-1③ 管理的職業従事者に占める女性の割合



II-1⑤ 民間企業における障害者の実雇用率



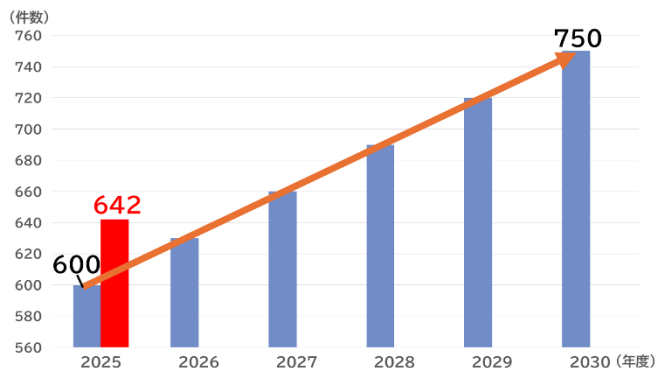
* COIは総務省「就業構造基本調査」によるものだが、5年に1回の公表のため、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の数値を併記(調査対象等が異なるため参考値)

目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

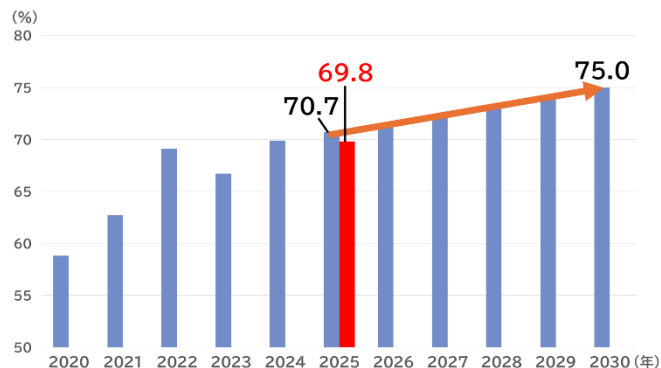
II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

※2025年(度)の数値については、左側がビジョン策定時の推計値、右側(赤)が実績値

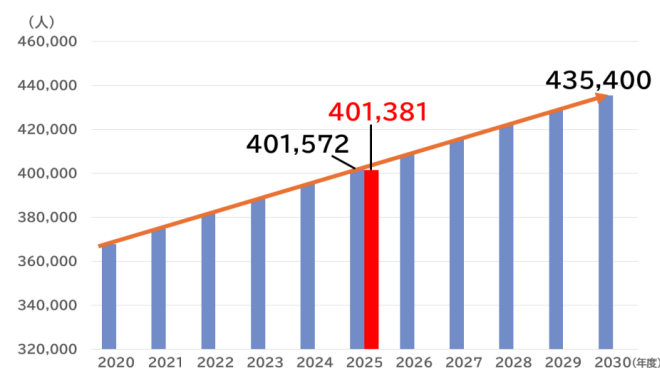
II-1⑥ あいち外国人材受入サポートセンターにおける相談件数



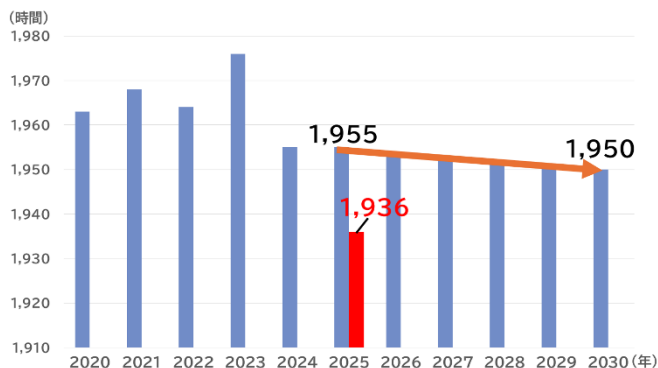
II-2② 年次有給休暇取得率



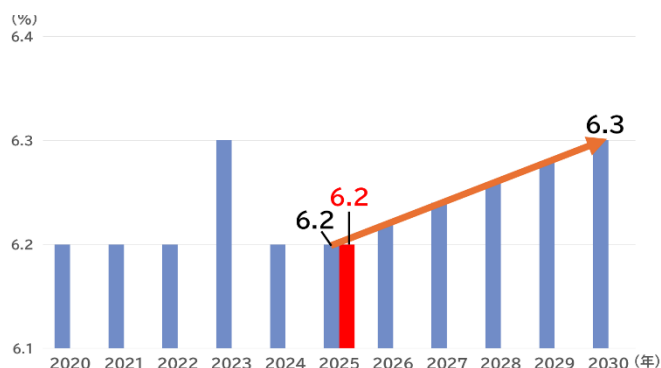
II-4 技能士数(累計)



II-2① 一般労働者の年間総実労働時間数



II-3 就業者数の全国シェア

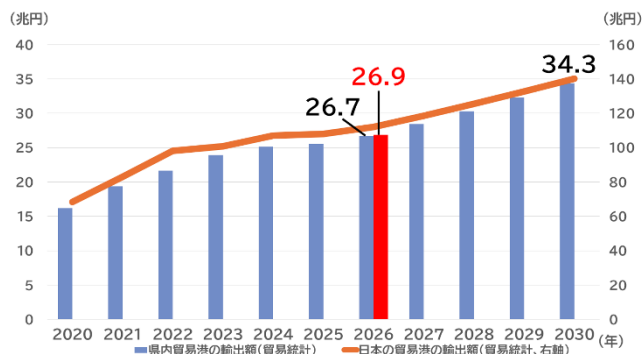


目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

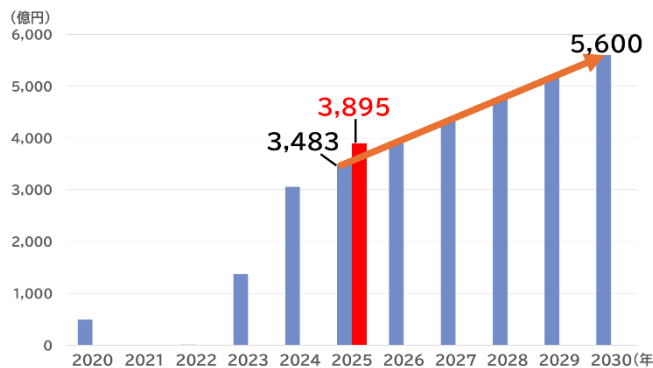
III 地域経済の活力を生み出すグローバル交流の拡大

※2025/2026年(度)の数値については、左側がビジョン策定時の推計値、右側(赤)が実績値(2025)または現在の推計値(2026)

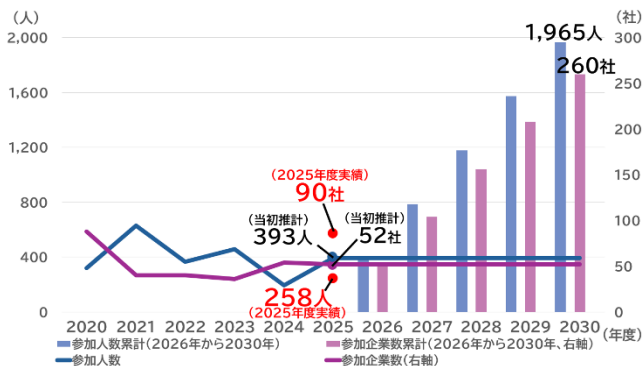
III① 製品輸出額



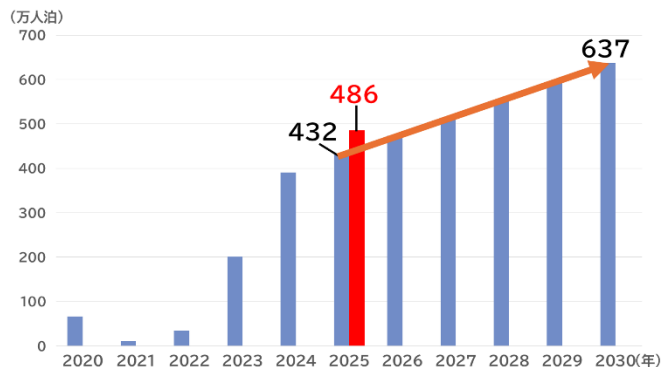
III② 外国人観光消費額



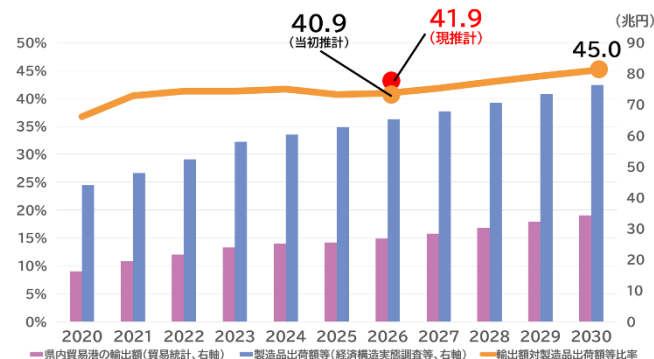
III-1 海外の国・地域等とのパートナーシップに基づく国際連携プログラムへの参加者数



III-2 外国人延べ宿泊者数



III-3 輸出額の対製造品出荷額等比率

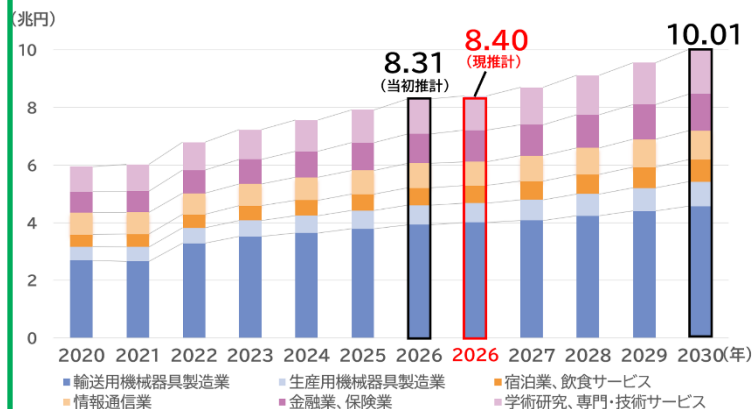


目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

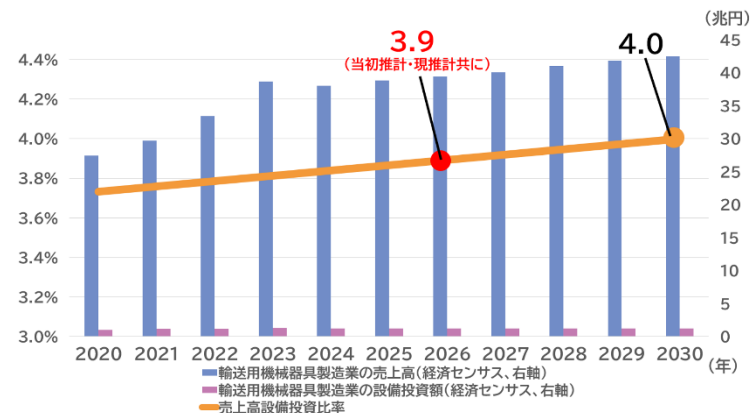
IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

※2026年(度)の数値については、左側がビジョン策定時の推計値、右側（赤）が現在の推計値

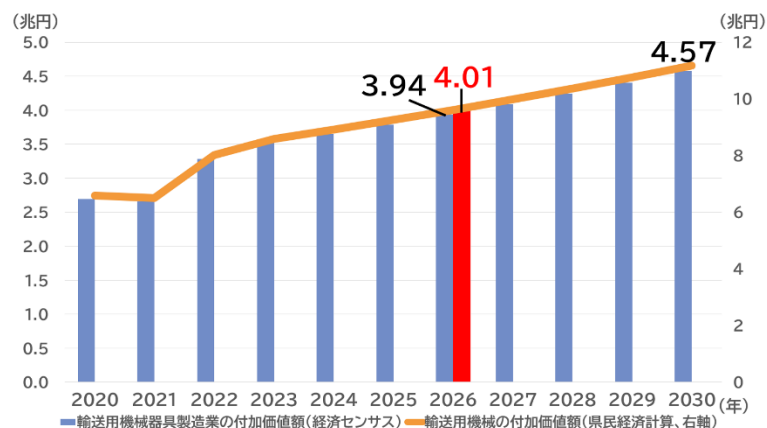
IV 牽引産業の付加価値額



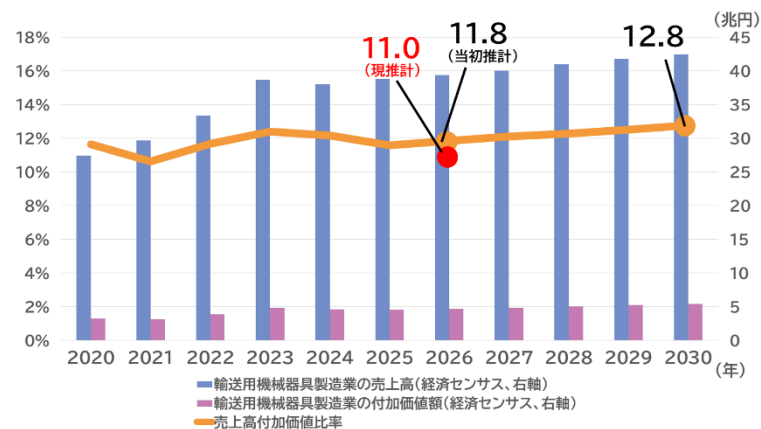
IV-1 ② 輸送用機械器具製造業の売上高設備投資比率



IV-1 ① 輸送用機械器具製造業の付加価値額



IV-1 ③ 輸送用機械器具製造業の売上高付加価値比率

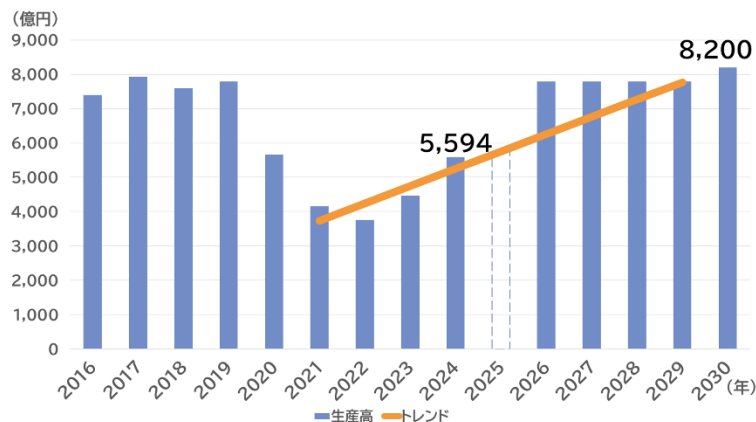


目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

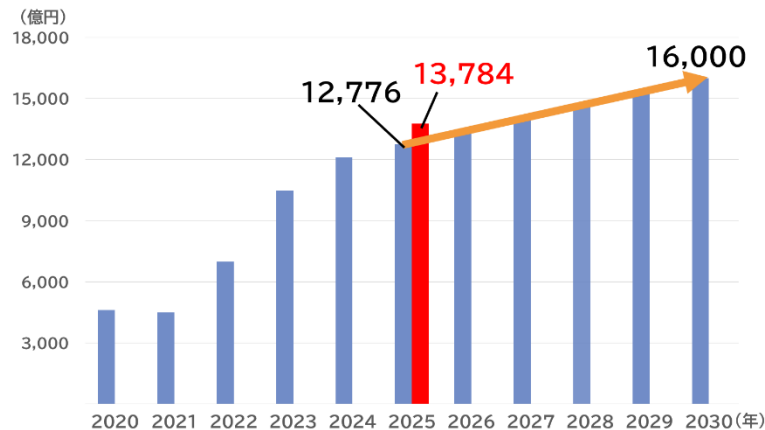
※2025/2026年(度)の数値については、左側がビジョン策定時の推計値、右側(赤)が実績値(2025)または現在の推計値(2026)

IV-2 ① 中部地域の航空機・部品の生産額

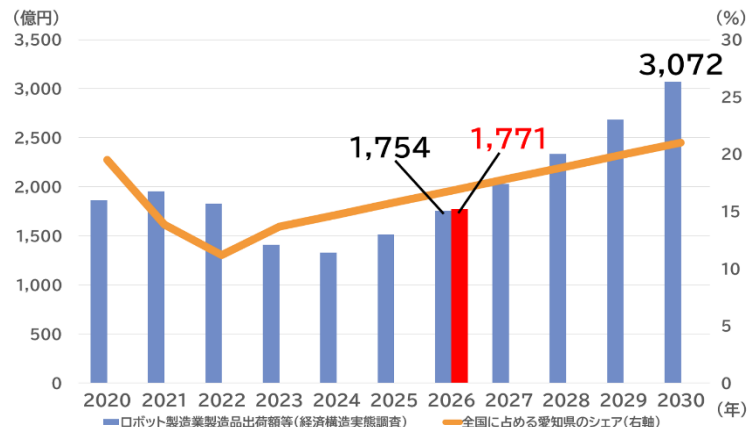


* 2024年度実績までしか公表されていない

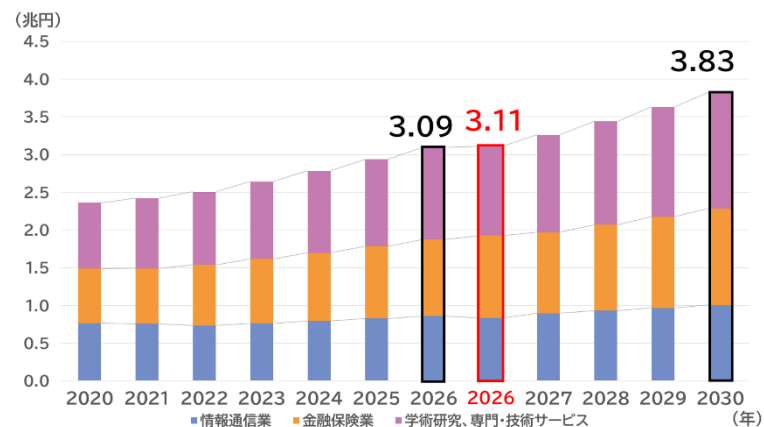
IV-3 観光消費額



IV-2 ② ロボット製造業の製造品出荷額等



IV-4 高付加価値第三次産業の付加価値額

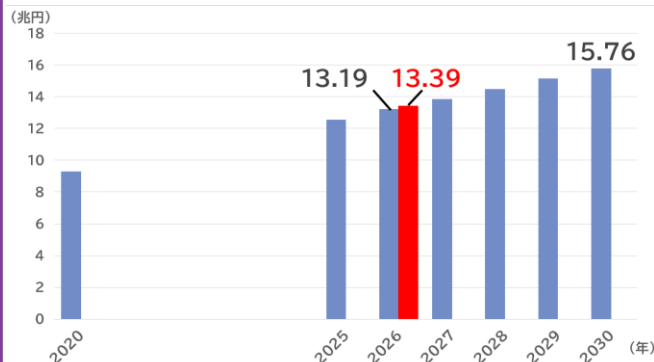


目指すべき姿の実現に向けた各指標の状況

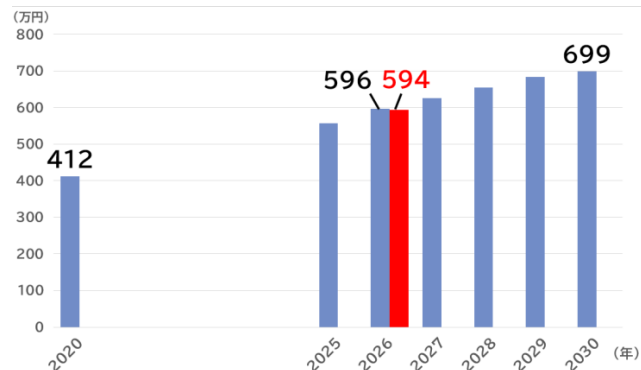
V 中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

※2025/2026年(度)の数値については、左側がビジョン策定時の推計値、右側（赤）が実績値(2025)または現在の推計値(2026)

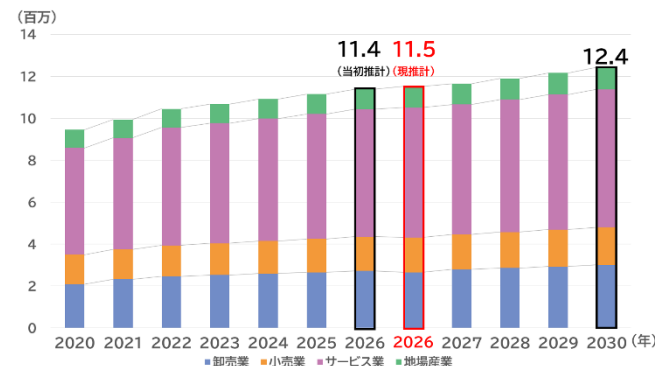
V 中小企業の付加価値額



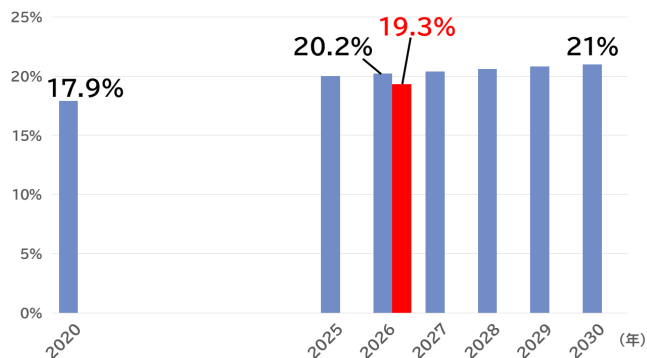
V-2 中小企業の労働生産性



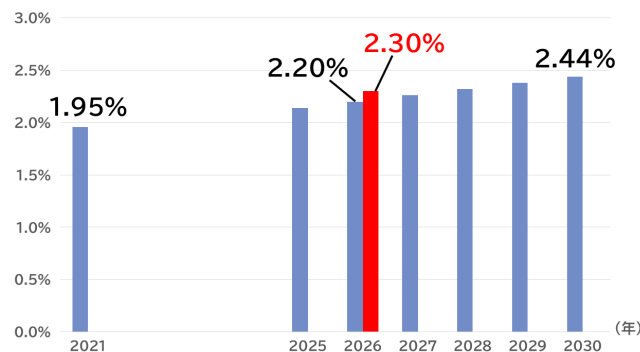
V-4 地場産業、卸売・小売・サービス業（中小企業）の付加価値額



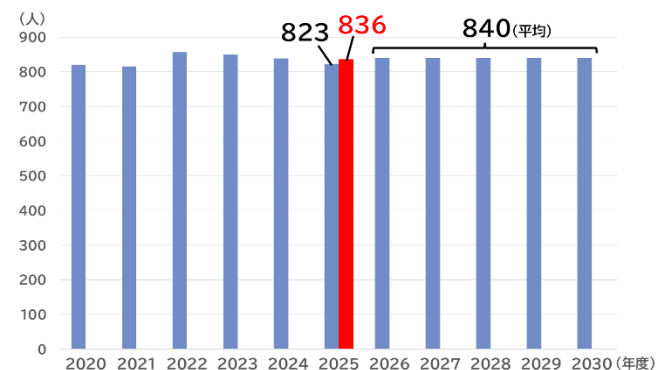
V-1 中小企業の売上高付加価値比率



V-3 従業員100名以上の企業割合



V-5 支援機関向け研修等の受講者数



イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

STATIONAiを中核とした国際的なイノベーション・エコシステムの形成により、将来の愛知、ひいては日本の産業を牽引する新たなビジネスを創出するとともに、研究開発や設備投資を始めとした国内外の投資を促進し、絶え間ないイノベーションを創出。

さらに、デジタル技術の加速度的な進展や産業部門への脱炭素化の要請などにも戦略的に対応し、産業競争力を強化。

イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

取組の方向性一覧

01

STATION Ai を中核としたイノベーション・エコシステムの形成

1. スタートアップの育成・創出支援/
スタートアップと既存企業とのオープンイノベーション支援
2. グローバル連携支援
3. ソーシャルイノベーション創出支援

02

イノベーションを創出する研究開発や国内外からの投資の促進

1. 地域の強みを活かした研究開発・実証実験の推進
2. 産業競争力強化に資する企業立地・設備投資の促進
3. 外国企業誘致・進出支援等による海外からの投資促進

03

デジタル技術の戦略的な活用

1. 県内企業のデジタル技術やロボット技術の導入、DX、AI化の促進
2. AI・ビッグデータ等のデジタル技術を活用した新たな価値の創出支援
3. デジタル人材・ロボット人材の育成・確保への支援

04

カーボンニュートラルに向けた戦略的な取組

1. 水素・アンモニアの社会実装の推進
2. 革新的な脱炭素技術の社会実装に向けた取組
3. 県内企業の脱炭素化支援

イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

01 | STATION Ai を中核としたイノベーション・エコシステムの形成

1. スタートアップの育成・創出支援/
スタートアップと既存企業とのオープンイノベーション支援
2. グローバル連携支援
3. ソーシャルイノベーション創出支援

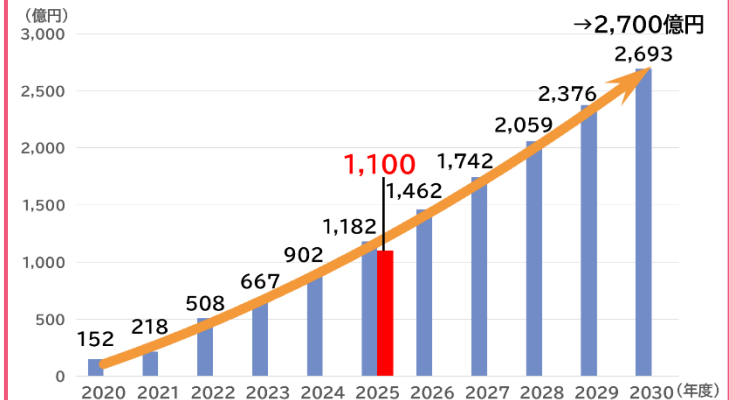
▶概要

・日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」を中核に、スタートアップの成長支援やスタートアップと既存企業によるオープンイノベーションの推進、グローバル連携、ソーシャルイノベーション創出を目指すプロジェクトの推進等を通じて、当地域にイノベーション・エコシステムを形成する。



スタートアップ支援拠点「STATION Ai」

COI：スタートアップの資金調達額（累計）



▶課題・背景、今後の方針等

・本県が産業競争力を維持・強化していくためには、スタートアップを起爆剤として、次々とイノベーションを創出していく必要がある。

→グローバルイベント「TechGALA Japan」を開催する等、国内外から広く優れたスタートアップや優秀な人材を本県に呼び込む。

→スタートアップの成長支援や既存企業とのオープンイノベーションを加速させるため、「AICHI DEEPTech LAUNCHPAD」を始めとした様々なプログラムを展開する。

I イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

02 | イノベーションを創出する研究開発や国内外からの投資の促進

1. 地域の強みを活かした研究開発・実証実験の推進
2. 産業競争力強化に資する企業立地・設備投資の促進
3. 外国企業誘致・進出支援等による海外からの投資促進

▶概要

- ・イノベーションや企業・経済の成長の原動力となる研究開発（投資）や設備投資を促進していく。

▶課題・背景、今後の方針等

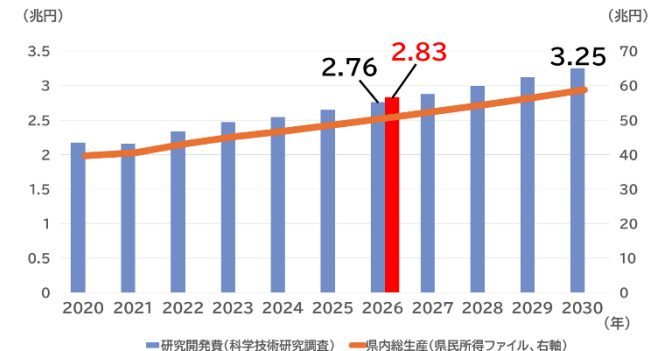
- ・従来の産学行政連携プロジェクトでは、研究シーズを起点に研究開発支援を実施しているが、地域未来戦略実現のためには、企業ニーズに即した産業構造の変化、経済安全保障の課題に対応した、企業主導による研究開発及び事業化の一層の促進が求められる。

→新たな産学行政連携プロジェクトを実施し、重点分野における社会実装と産業クラスター形成を推進する。

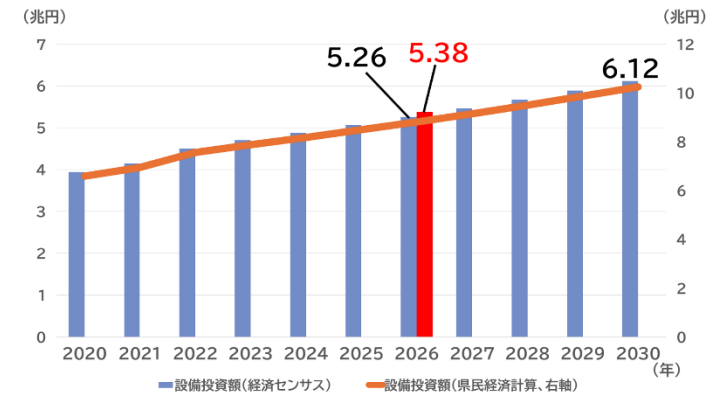
- ・各種企業立地支援施策により、主に製造業の新規立地や再投資を支援しているが、製造業以外の付加価値の高い第三次産業の企業誘致の重要性が増している。

→支援施策において、データセンターなど製造業以外の付加価値の高い第三次産業等を支援対象にできるか検討する。

COI：県内企業の研究開発費



COI：県内企業の設備投資額



新たな産学行政連携プロジェクトの実施



8分野における社会実装の推進

地域未来戦略の実現（産業クラスター形成）

イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

03 デジタル技術の戦略的な活用

1. 県内企業のデジタル技術やロボット技術の導入、DX、AI化の促進
2. AI・ビッグデータ等のデジタル技術を活用した新たな価値の創出支援
3. デジタル人材・ロボット人材の育成・確保への支援

▶概要

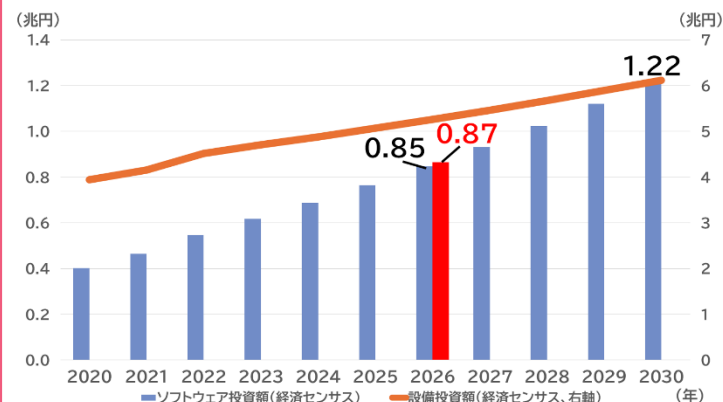
・AIを始めとするデジタル技術の加速度的な進展は、産業や労働の構造そのものを大きく変えつつあり、産業競争力の維持・強化に向けて、DXの推進やAIロボット技術の活用、デジタル技術を活用することで、新たな価値の創出を強く推し進めていく。



稼働状況を見える化するツール
「IoTGO」 (株)マイクロリンク



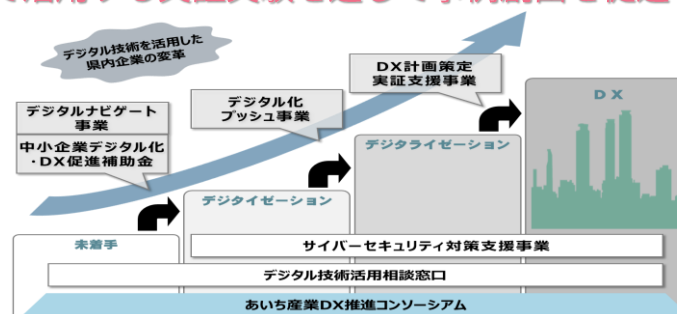
COI：県内企業のソフトウェア投資額



▶課題・背景、今後の方針等

・県内企業のデジタル化の状況として、デジタイゼーション以下の進捗となっている割合は、大企業では50%、中堅企業以下では80%以上（2024年12月愛知県調査結果）となっており、デジタル化の一層の推進が必要となっている。

→デジタル化未着手からDXまで、各企業の取組段階に応じた支援策を一気通貫で提供し、デジタル化・DXの推進を図る。また、AI等のデジタル技術を、製造業の工場や物流業の倉庫等の現場で活用する実証実験を通じて事例創出を促進する。



I イノベーションを源泉とした産業競争力の強化

04 | カーボンニュートラルに向けた戦略的な取組

1. 水素・アンモニアの社会実装の推進
2. 革新的な脱炭素技術の社会実装に向けた取組
3. 県内企業の脱炭素化支援

▶概要

・カーボンニュートラルの実現に向けた産業部門への脱炭素化の要請を踏まえ、水素・アンモニアの社会実装を始めとした本県産業の持続可能な成長を図るために必要となる取組を成長戦略の一つとして位置づけ、戦略的に推進するとともに、こうした取組や需要を起点とした地域内の経済好循環に繋げていく。

▶課題・背景、今後の方針等

・水素・アンモニアはエネルギー安全保障やカーボンニュートラルなどに資するエネルギー源であるが、資材高騰の影響などから民間投資が進まず、水素等の大規模な需要が創出されていない状況で、国が目指す水素価格を実現することが困難となっている。

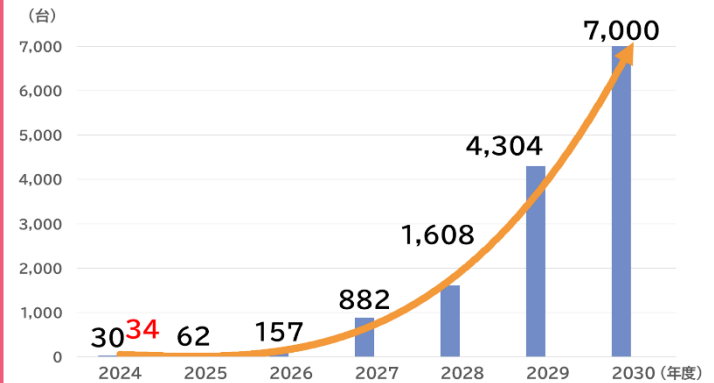
→2026年5月に8都道県3市の連名による「激動の国際情勢下での水素社会の実現に向けた一層の取組強化を求める緊急声明」を本県が中心となり取りまとめ、高市内閣総理大臣に要請を実施。

要請項目として記載した、産業界と政府が推進する「水素大動脈構想」の取組の実現に向けた各種施策を展開していく。

・新たな水素ステーションの設置に向けては、モビリティ分野におけるより多くの水素需要の創出が図ることが重要となっている。

→2026年度から、一般乗用車のFCVに比べて水素の消費量が多い、FCタクシーの導入を支援するメニューを創設し、水素需要の創出を図る。

COI：FC商用車の導入件数(累計)



水素社会実現に向けた8都道県3市による高市内閣総理大臣への要請



AICHI H2

<FCタクシー補助制度>

- ・導入費 350万円/台
- ・燃料費 576円/kg

多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

生産年齢人口の減少が進行し、今後さらに加速化が見込まれる中で、若者・女性・中高年齢者・障害者・外国人など多様な人材の確保に取り組むとともに、多様で柔軟な働き方や「休み方改革」、ハラスメント対策などに取り組むことで、誰もが安心して働ける職場づくりを推進する。

また、若者を始めとした働き手を愛知に引きつけ、定着する環境づくりを多角的に進めるとともに、地域の産業を支える人材の育成にも取り組んでいく。

II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

取組の方向性一覧

01 多様な人材の確保・活躍支援

1. 多様な人材（若者・女性・中高年齢者・障害者・外国人等）の確保・活躍支援
2. 不本意非正規労働者等への支援
3. 副業・兼業人材の活用促進
4. デジタル技術やロボット技術を活用した労働生産性の向上への支援

02 ワーク・ライフ・バランスの充実と安心して働ける職場環境づくり

1. 多様で柔軟な働き方の促進・「休み方改革」によるワーク・ライフ・バランスの充実
2. カスタマーハラスメントを始めとした職場のハラスメント防止対策の促進
3. メンタルヘルス・労働災害防止対策の充実
4. 労働関係法令等の周知と労働相談の充実

03 愛知からの人口流出を止め、愛知で働く人を増やす取組

1. 魅力的な働く場を増やす取組
2. 首都圏等からのUIJターンの促進・愛知の魅力発信
3. 外国人材の受入促進

04 地域の産業を支える人材の育成

1. イノベーションを生み出すための人材育成
2. モノづくり人材の育成
3. 技能競技大会の開催等を契機とした更なる技能振興
4. キャリア教育の推進とリスキリング・スキルアップの支援

II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

01 | 多様な人材の確保・活躍支援

1. 多様な人材（若者・女性・中高年齢者・障害者・外国人等）の確保・活躍支援
2. 不本意非正規労働者等への支援
3. 副業・兼業人材の活用促進
4. デジタル技術やロボット技術を活用した労働生産性の向上への支援

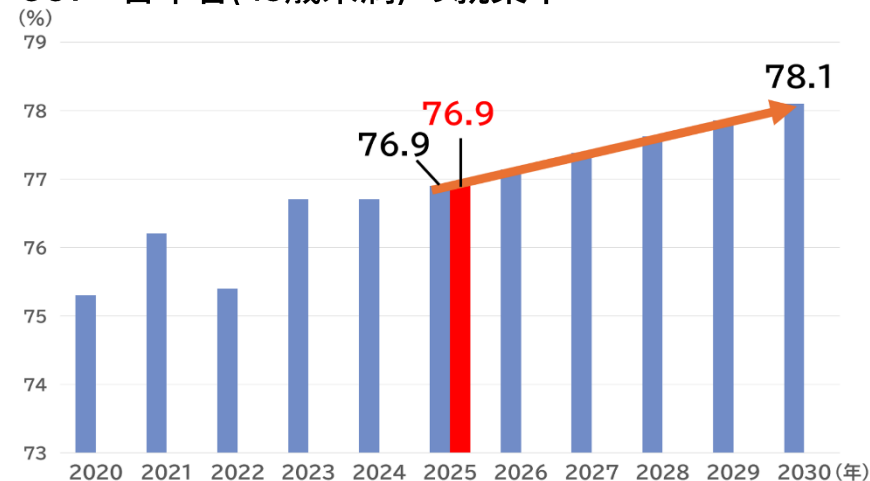
▶概要

- ・若者・女性・中高年齢者・障害者・外国人等の多様な人材の確保を支援するとともに、これらの人材が能力を十分に発揮できる環境を整えることで、誰もが活躍できる社会の実現を目指す。
- ・さらに、人材確保のみならず、正規雇用化や副業・兼業人材の活用、DXによる労働生産性向上を一体的に推進することで、限られた労働力の中で地域経済の持続的な成長を可能とする社会を目指す。

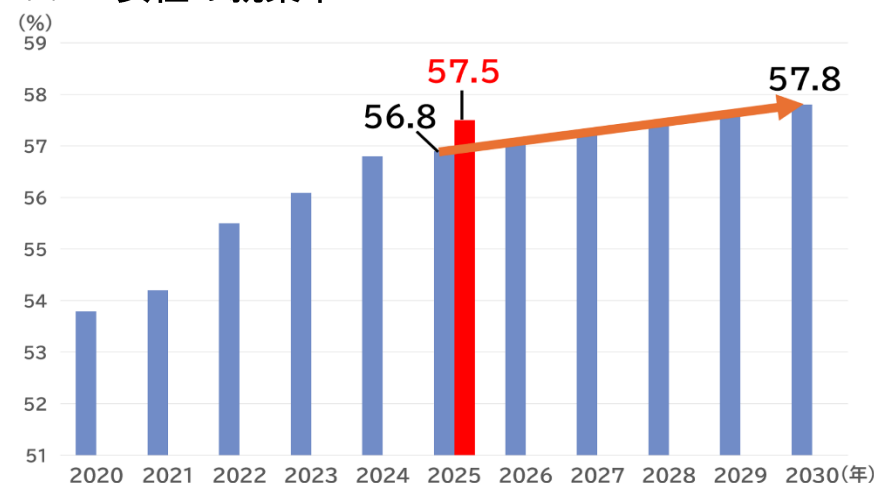


「あいち外国人材受入サポートセンター」における相談対応

COI：若年者(45歳未満)の就業率



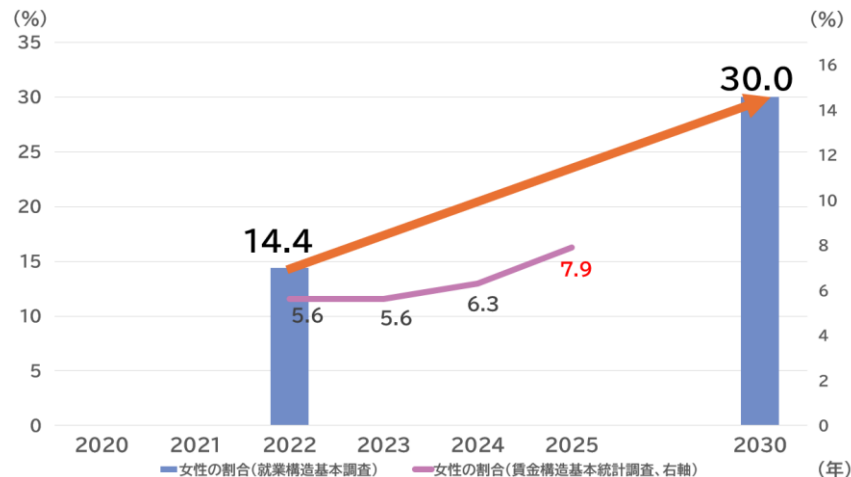
COI：女性の就業率



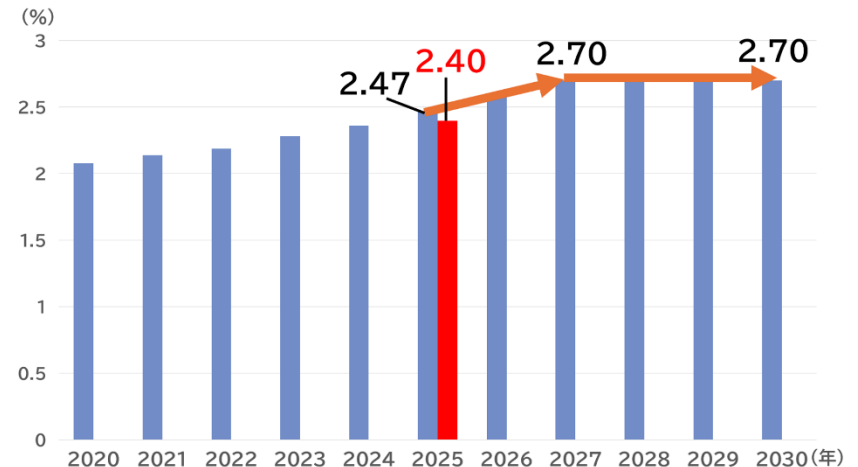
II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

01 | 多様な人材の確保・活躍支援

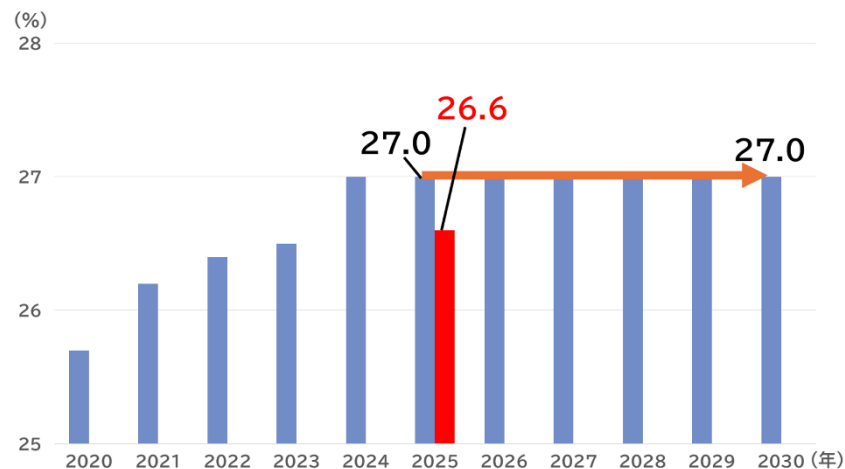
COI：管理的職業従事者に占める女性の割合



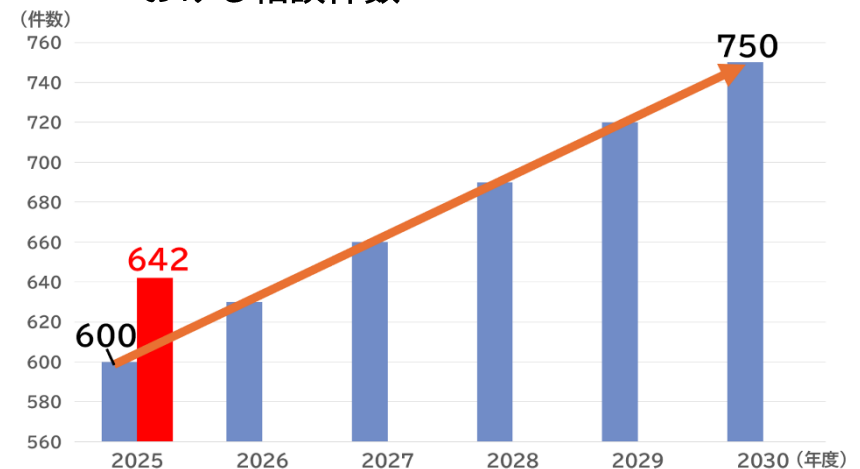
COI：民間企業における障害者の実雇用率



COI：高齢者(65歳以上)の就業率



COI：あいち外国人材受入サポートセンターにおける相談件数



II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

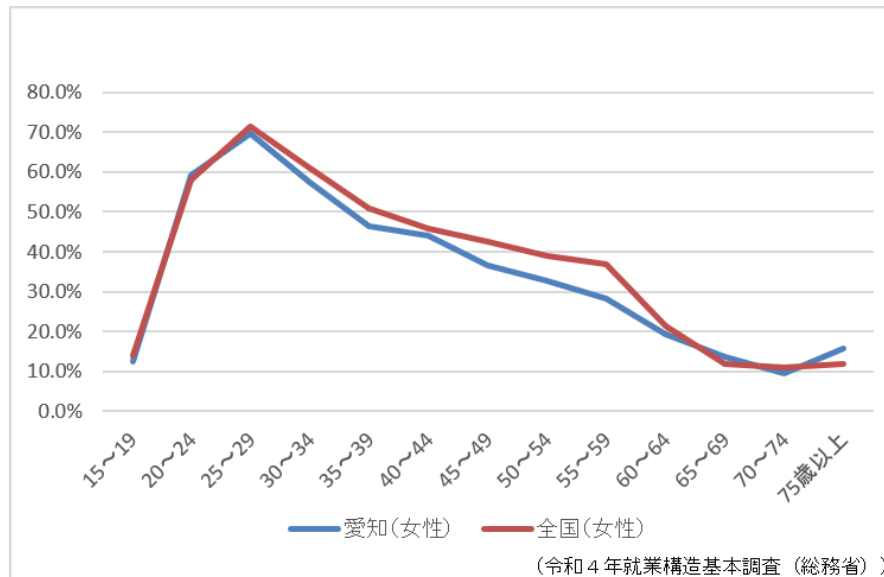
01 | 多様な人材の確保・活躍支援

▶課題・背景、今後の方針等(女性の活躍支援)

- ・愛知県の女性の年齢階級別正規雇用比率は、全国と同様に25～29歳をピークに低下する、いわゆる「L字カーブ」を描いている。また、本県は全国と比べて正規雇用比率が低いことが課題となっている。

→就労の壁の一つとなっている「年収の壁」等に関するセミナーを開催するとともに、正規雇用を希望する女性を対象とした小規模な就職説明会を開催し、企業と女性とのマッチング機会を創出する。

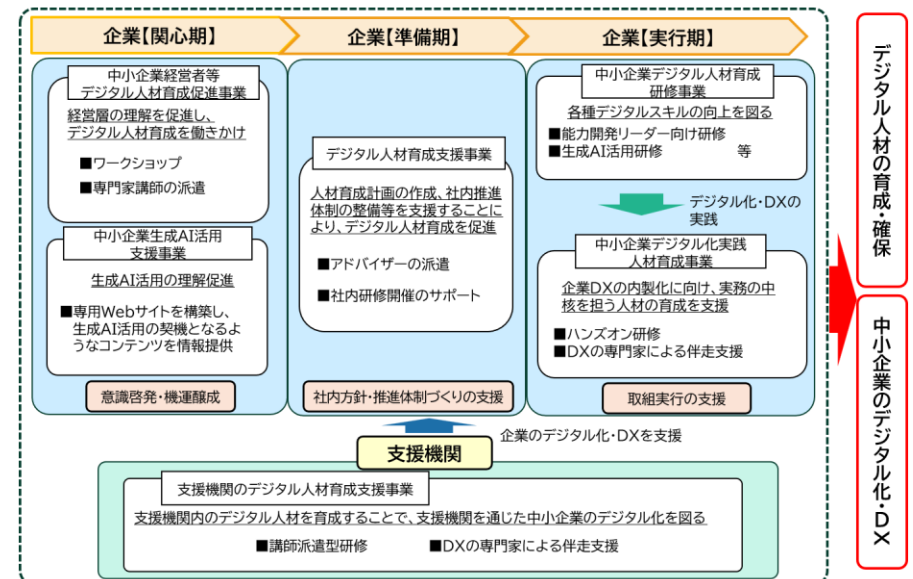
<愛知県と全国の正規の職員・従業員割合の比較（L字カーブ）>



▶課題・背景、今後の方針等（デジタル人材の育成）

- ・県内企業のデジタル化を推進する上で不足する人材として、デジタル技術の活用を主導する全社レベルのリーダーや、各現場の責任者が上位を占めている。
- 新たに体験型の実践的ハンズオン研修や実装時の伴走支援などを実施し、中小企業のDX推進の中核を担うデジタル人材の育成を支援する。

<デジタル人材育成推進事業（全体イメージ）>



II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

02 | ワーク・ライフ・バランスの充実と安心して働ける職場環境づくり

1. 多様で柔軟な働き方の促進・「休み方改革」によるワーク・ライフ・バランスの充実
2. カスタマーハラスメントを始めとした職場のハラスメント防止対策の促進
3. メンタルヘルス・労働災害防止対策の充実
4. 労働関係法令等の周知と労働相談の充実

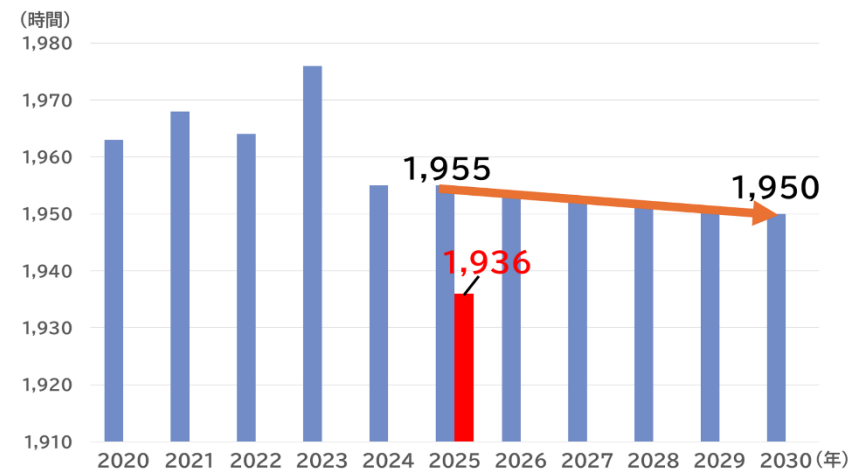
▶概要

- ・多様で柔軟な働き方や「休み方改革」を進め、仕事と生活の調和を図るとともに、ハラスメント防止やメンタルヘルス対策を通じて、誰もが安心して働ける職場環境づくりを推進する。
- ・また、労働関係法令等の周知や労働相談の実施などにより、企業や労働者の不安や問題の解消に取り組む。

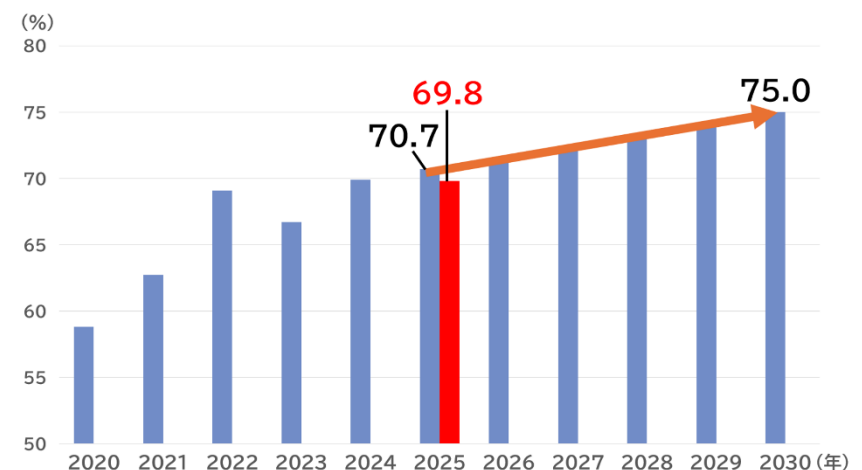
▶課題・背景、今後の方針等

- ・近年、熱中症による業務上の疾病件数及び、60歳以上の高齢者の労働災害による死傷者数が増加しており、企業における労働災害防止に向けた取組の強化が必要である。
- 職場環境改善への対応が困難な中小企業を重点的に支援し、安全・安心な職場環境の整備を促進することで、労働災害の防止と労働生産性の向上を図る。

COI：一般労働者の年間総実労働時間数



COI：年次有給休暇取得率



II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

03 | 愛知からの人口流出を止め、愛知で働く人を増やす取組

1. 魅力的な働く場を増やす取組
2. 首都圏等からの UIJ ターンの促進・愛知の魅力発信
3. 外国人材の受入促進

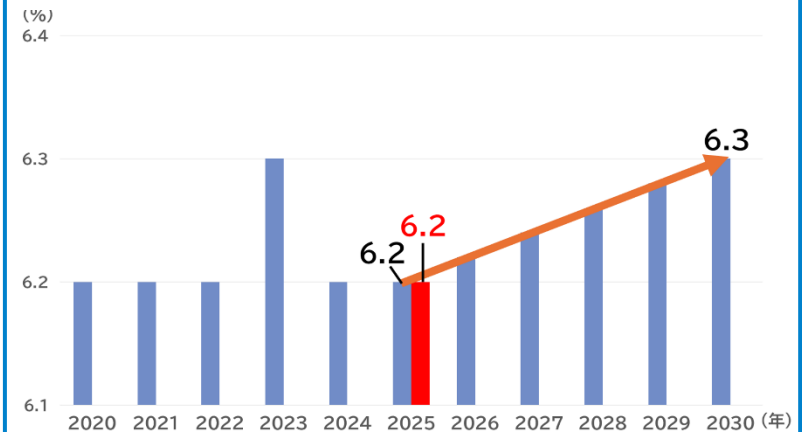
▶概要

- ・スタートアップ・エコシステムの形成、第三次産業や大企業等の本社機能の誘致に加え、「休み方改革」の普及等を通じて魅力的な働く場を増やす取組を推進するとともに、UIJターン支援や県内地域の魅力発信を進める。
- ・また、外国人を始めとする人材の確保を進めるなど、持続的な社会の発展を図る。



知事とフィリピン移住労働者省との面談（2025年8月）

COI：就業者数の全国シェア



▶課題・背景、今後の方針等

- ・近隣諸国の多くも少子化に直面しており、外国人材の確保は今後ますます厳しくなっていくことが予想されるため、県内企業が多く海外の若者から「働く場所として選ばれる」ことが重要になる。

→産業人材の受入れに関する覚書の締結等により海外政府との関係構築を進めるとともに、県内企業の魅力を知ってもらうための具体的な取組を実施する。

II 多様な人材の活躍と地域の産業を支える人材の育成

04 | 地域の産業を支える人材の育成

1. イノベーションを生み出すための人材育成
2. モノづくり人材の育成
3. 技能競技大会の開催等を契機とした更なる技能振興
4. キャリア教育の推進とリスキリング・スキルアップの支援

▶概要

- ・イノベーション創出を担う人材、熟練技能者、研究開発や工程改善などを担う高度専門人材など、モノづくり人材を始め、地域の産業を支える多様な人材の育成に取り組む。
- ・また、創造性と技術力を兼ね備えた次世代の人材育成を目指すSTEAM教育の推進を始め、キャリア教育やリスキリングの充実、技能競技大会の開催等を契機とした技能振興など、各世代・階層に応じた施策を産業界・教育界と連携して総合的に展開する。



Photo: courtesy of WorldSkills International
2024年技能五輪国際大会 競技風景

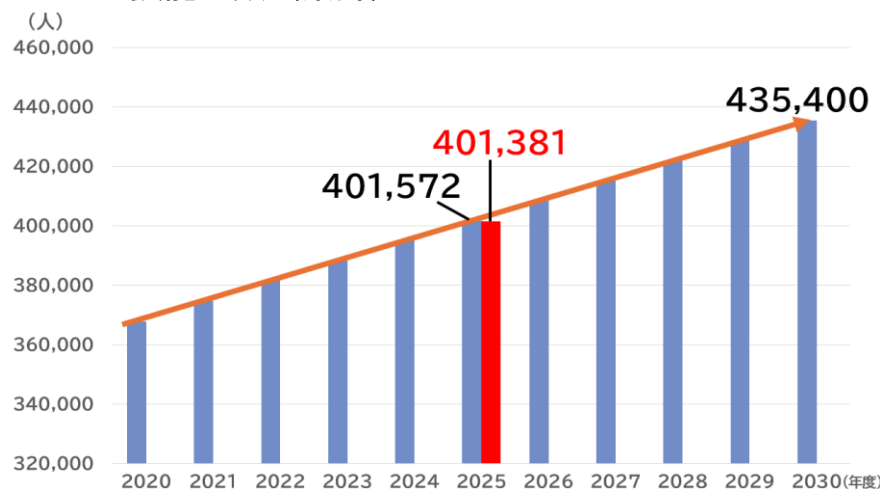


「派遣講座」でのモノづくり体験



「訓練見学会」の様子

COI：技能士数（累計）



▶課題・背景、今後の方針等

- ・本県は全国一の技能士数を誇っているが、新たに技能士となる人数は年々減少傾向にあることから、労働者の技能と地位の向上やモノづくり愛知の未来を担う若者が技能に興味・関心を高める取組が必要である。

→「技能検定」等の職業能力評価制度の普及促進を図るため、「あいち技の伝承士」（指導力に優れた企業OB等の熟練技能者）を中小企業等へ派遣することで次代を担う若手人材確保・育成や技能向上を推進する。

→また、技能五輪全国大会・全国アビリンピックや2028年技能五輪国際大会の開催を契機として、技能五輪選手の訓練見学会や技能五輪のメダリスト等が小中学校、高等学校等を訪問する派遣講座等を実施し、次代を担う子どもや若者の技能への関心を高める取組を進める。

地域経済の活力を生み出すグローバル交流の拡大

人口減少などにより国内需要の縮小が見込まれる中、世界には成長するマーケットや次々とイノベーションを生み出し成長する国や地域、叡智に溢れる大学やスタートアップ支援機関が存在する。愛知の産業集積や観光資源、「STATION Ai」などの強み・魅力を活かし、グローバル市場への更なる展開、インバウンド需要の獲得を強化する。

世界とつながり、多様な主体が交流・共創するイノベーション・ハブを形成することで、グローバルなビジネスや投資・人材を惹きつける「世界と大交流する愛知」づくりを進める。

III 地域経済の活力を生み出すグローバル交流の拡大

取組の方向性一覧

01 国際的なパートナーシップ構築による イノベーション・ハブの形成

1. 国際的なガバメンタル・パートナーシップ構築による
経済交流・連携関係の拡大・深化
2. 海外大学等とのアカデミック・パートナーシップ構築に
よる世界的な知との交流・共創

02 インバウンド需要の獲得・産業交流の 促進

1. 愛知の魅力を活かした観光コンテンツの提供による
海外からの旅行者（ビジネス含む）の呼び込み
2. 国際的なMICEの誘致・開催に向けた取組強化
3. 産業展示会等を通じたビジネス交流の促進

03 グローバル市場への展開支援

1. 県内企業の海外販路開拓の支援
2. 県内企業のグローバル展開に向けたサポートと
ビジネス環境の整備
3. 国際経済秩序の転換や世界的な不確実性の高まりへの対応

III 地域経済の活力を生み出すグローバル交流の拡大

01 国際的なパートナーシップ構築によるイノベーション・ハブの形成

1. 国際的なガバメンタル・パートナーシップ構築による
経済交流・連携関係の拡大・深化
2. 海外大学等とのアカデミック・パートナーシップ構築による
世界的な知との交流・共創

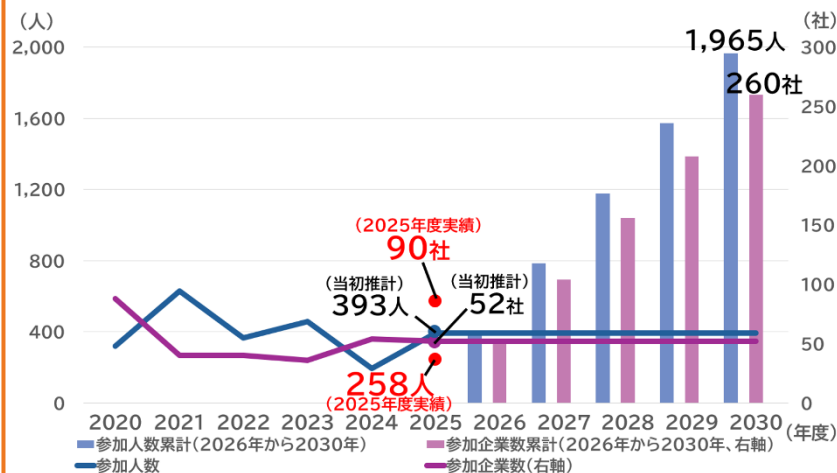
概要

・世界の政府・地方政府とのG to Gのパートナーシップ構築をイニシャルアクションとして、大学、研究機関、支援機関・団体、スタートアップ・企業など多様な主体に交流・連携を広げ、愛知を舞台に世界と交流・共創するイノベーション・ハブの形成を目指す。



ジャック・アタリ氏と大村知事
STATION Aiにて

COI：海外の国・地域等とのパートナーシップに基づく国際連携プログラムへの参加者数（累計）



課題・背景、今後の方針等

・現行産業の付加価値創造や、県内スタートアップのグロースをさらに促進していくためには、海外の国・地域等とのパートナーシップの深化、拡大を図っていく必要がある。

→STATION Fを始めとした8か国20の海外のスタートアップ支援機関・大学との連携を深化させるため、県事業やSTATION Aiのパートナー企業等が提供するプログラムへの海外スタートアップの参画を加速する。

→また、海外ネットワークの拡大を図るため、愛知県のスタートアップの海外展開等を目的とした新たな連携先を調査、検討する。

III 地域経済の活力を生み出すグローバル交流の拡大

02 | インバウンド需要の獲得・産業交流の促進

1. 愛知の魅力を活かした観光コンテンツの提供による海外からの旅行者（ビジネス含む）の呼び込み
2. 国際的なMICEの誘致・開催に向けた取組強化
3. 産業展示会等を通じたビジネス交流の促進

概要

- ・本県ならではの地域資源を観光コンテンツとして磨き上げるとともに、効果的な手段によるPR・プロモーションに取り組んでいく。
- ・また、経済・消費活動の裾野が広く、地域への経済波及効果が期待される国際的なMICEの誘致・開催に向け、本県の強みを生かした取組を強化していく。



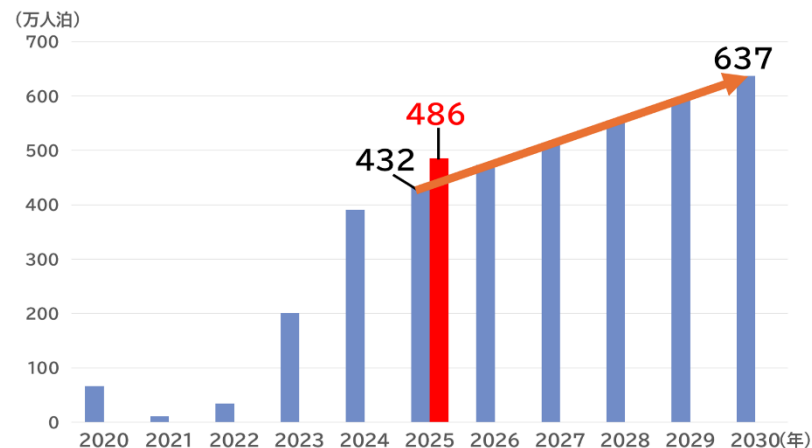
第59回アジア開発銀行年次総会での次回開催国PR



写真提供: エスパシオ ナゴヤキャッスル

エスパシオ ナゴヤキャッスル

COI：外国人延べ宿泊者数



課題・背景、今後の方針等

- ・海外での認知度や情報発信力等に課題があり、来訪を県内周遊や滞在中の観光消費に十分つなげられていない。
- インバウンド市場の特性に応じた誘客と地域資源の高付加価値化を進めるほか、MICEの誘致・開催により、県内周遊や交流・消費の拡大につなげる。

<愛知「発酵食文化」特設サイトの開設>



III 地域経済の活力を生み出すグローバル交流の拡大

03 | グローバル市場への展開支援

1. 県内企業の海外販路開拓の支援
2. 県内企業のグローバル展開に向けたサポートと
ビジネス環境の整備
3. 国際経済秩序の転換や世界的な不確実性の高まりへの対応

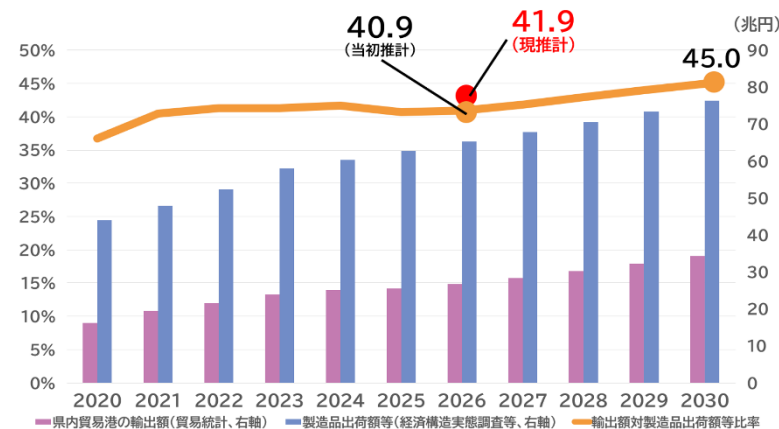
▶ 概要

・人口減少などに伴い国内需要の縮小が見込まれる中、様々な産業分野において、これまで以上に海外需要の獲得が重要になってくることを踏まえ、国際的なビジネス交流の機会を継続的に提供するとともに、海外におけるビジネス活動の各種サポートを行っていく。



第3回米国関税対策本部会議

COI：輸出額の対製造品出荷額等比率



▶ 課題・背景、今後の方針等

・米国関税措置の影響を受ける県内企業を対象に新たな海外販路開拓を支援しているものの、その他の国際情勢の変化による影響を大きく受ける県内企業の海外販路開拓まで支援できていない。

→直近では中東情勢の悪化による影響が大きくなっていることを踏まえ、「中東情勢の影響を受ける企業」を支援対象に加えるなど、より幅広く県内企業の海外展開を支援していく。



SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE

V

あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

産業基盤の強みを最大限活かしつつ、社会経済環境の変化と本県の産業構造を踏まえた、戦略的で未来志向の産業振興を行っていく。

また、本県の基幹産業である自動車産業の次世代自動車・モビリティ産業への進化やサプライチェーンを支える中小・中堅自動車サプライヤーの構造転換への対応を後押ししていく。さらに、今後、飛躍的な成長が期待される航空宇宙産業、ロボット産業、観光関連産業、成長著しいデジタル関連産業などの高付加価値な第三次産業等を戦略的に振興していく。

IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

取組の方向性一覧

01

自動車産業の構造転換への対応

1. 次世代自動車・モビリティ産業シフトの推進
2. 中小・中堅自動車サプライヤーの支援

02

航空宇宙産業、ロボット産業の振興

1. 地域が一体となった航空宇宙産業の振興
2. 次世代空モビリティの社会実装に向けた取組
3. ロボットを「作り」「使う」先進地を目指す取組

03

観光関連産業の振興

1. 観光需要の平準化に向けた取組
2. 観光関連産業の生産性向上・高付加価値化の推進
3. デジタルを活用した効果的なマーケティングの推進
4. 広域観光の推進

04

成長著しいデジタル関連産業を始めとする高付加価値な第三次産業等の振興・誘致

1. スタートアップや産学行政連携プロジェクト等による新産業の創出・振興
2. 高付加価値な第三次産業等の戦略的な企業誘致

IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

01 | 自動車産業の構造転換への対応

1. 次世代自動車・モビリティ産業シフトの推進
2. 中小・中堅自動車サプライヤーの支援

▶概要

・次世代自動車・モビリティ産業への進化を強力に後押しするとともに、そのサプライチェーンを支える中小・中堅自動車サプライヤーが事業環境の大きな変化に対応するための支援を全方位で行っていく。

▶課題・背景、今後の方針等

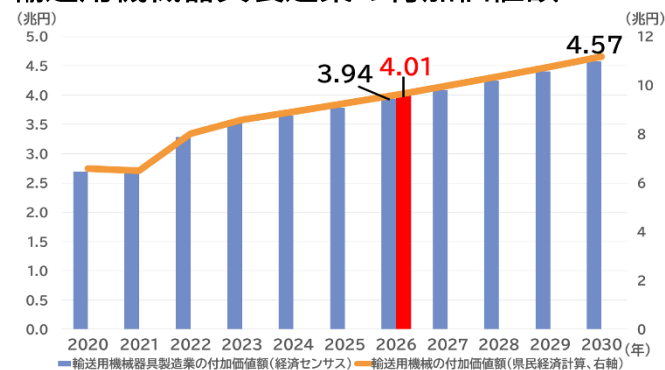
・深刻な運転手不足等の社会課題への対応として、自動運転による公共交通の維持確保が期待されている。こうした中、県の実施する中部国際空港周辺での高速バス実証は、国の「先行的事業化地域」に選定された事業であり、2027年度中の自動運転レベル4取得が求められている。

→今年度事業で車両改造や準備走行を進め、レベル4取得に向けた取組を進めていく。

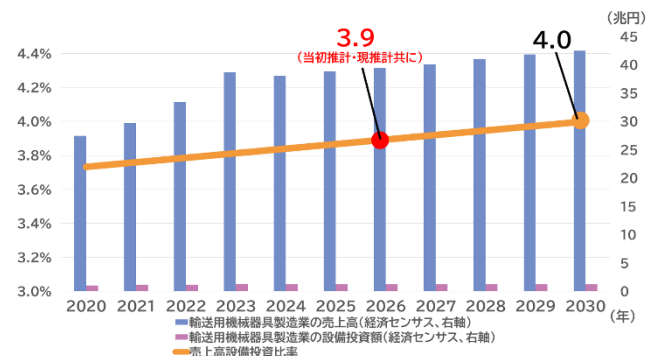
・電動化やデジタル化などに加え、中東情勢や米国関税といった国際情勢の大きな変化が、自動車サプライヤーの経営状況や事業環境へもたらしている影響を把握できていない。

→中小・中堅自動車サプライヤーを巡る状況を調査することにより、効果的な支援に繋げていく。

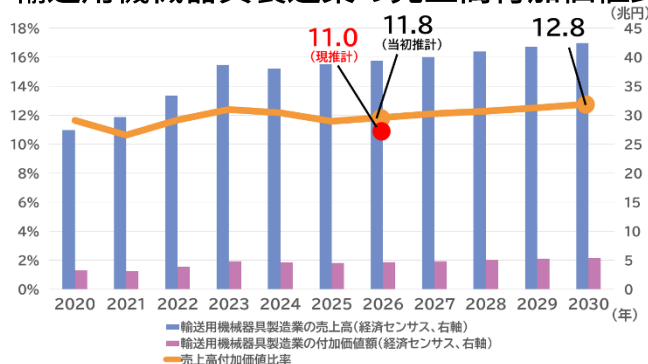
COI：輸送用機械器具製造業の付加価値額



COI：輸送用機械器具製造業の売上高設備投資比率



COI：輸送用機械器具製造業の売上高付加価値比率



IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

02 | 航空宇宙産業、ロボット産業の振興

1. 地域が一体となった航空宇宙産業の振興
2. 次世代モビリティの社会実装に向けた取組
3. ロボットを「作り」「使う」先進地を目指す取組

▶概要

・高い成長率が見込まれる産業であるとともに、日本有数の生産拠点であるなど、本県に高いポテンシャル航空宇宙産業とロボット産業を戦略的に振興し、世界的な製造・開発の拠点を目指す。

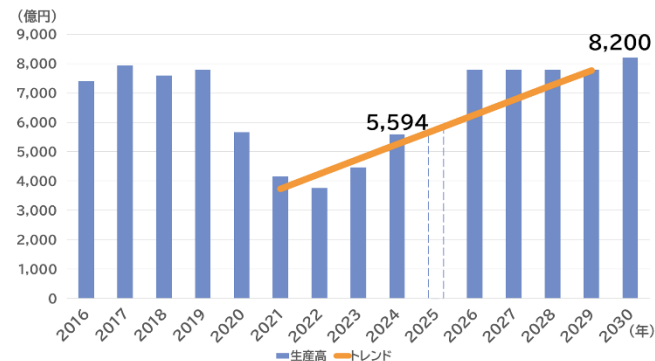
▶課題・背景、今後の方針等（航空宇宙産業）

・次なる完成機事業への参画や、宇宙産業、次世代空モビリティなどの新興分野の成長を促進するためには、サプライチェーンの強化と供給力の向上が必要。また、航空宇宙産業を支える高度専門人材の育成・確保も課題となっている。

→航空宇宙産業高度強靱化補助金を創設し、県内企業の新規設備投資を支援するとともに、あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムとして、新卒者及び転職者向け採用イベントへの出展を支援する航空宇宙産業就職フェア出展支援事業を新たに開始した。

これらの新規事業により、設備投資及び人材確保に対する支援を強化するとともに、従前から実施している人材育成、販路開拓、新規参入支援等と一体的に推進することで、本県航空宇宙産業のさらなる拡大と競争力強化を図る。

COI：中部地域の航空機・部品の生産額



▶課題・背景、今後の方針等（次世代空モビリティ）

・物流ドローンやAAM※（空飛ぶクルマ）の社会実装に向けて、運航体制構築や環境整備を進めているが、ビジネスモデルの不確実性が課題となっている。 ※Advanced Air Mobility

→上記を踏まえ、物流ドローンのビジネスモデル構築の検証に向けた運航事業者支援や、AAMの県営名古屋空港における離着陸場整備や空港等をハブとした交通ネットワーク形成に向けたVP設置場所の検討を行う。

→この他、災害時におけるドローンの円滑な利活用に向けた訓練を実施する。

物流

山間地や離島などの地域で、ドローンを始めとする様々なモビリティを用いた物流の最適化を図り、地域の多様な主体が参画する地域内物流のビジネスモデルを構築



人流

将来的なAAM（空飛ぶクルマ）の普及を見据え、拠点となる場所において、全国に先立つ社会実装モデルとして、遊覧飛行をはじめとした運航を実現



対応
災害

災害時：「愛知県次世代空モビリティ災害対応チーム」の県災害対策本部における活動体制の構築
平時：大規模災害発生時に被害が想定される公共インフラの点検等に次世代空モビリティを利活用



IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

02 | 航空宇宙産業、ロボット産業の振興

1. 地域が一体となった航空宇宙産業の振興
2. 次世代モビリティの社会実装に向けた取組
3. ロボットを「作り」「使う」先進地を目指す取組

▶課題・背景、今後の方針等（ロボット）

・2026年3月に国が「AIロボティクス戦略」を策定し、AIロボット分野における官民投資、技術開発、社会実装に向けた取組が加速している。AIロボットの活用分野は幅広いことから、本県において活用が期待される分野やユースケースを明確化し、戦略的に社会実装を推進していく必要がある。

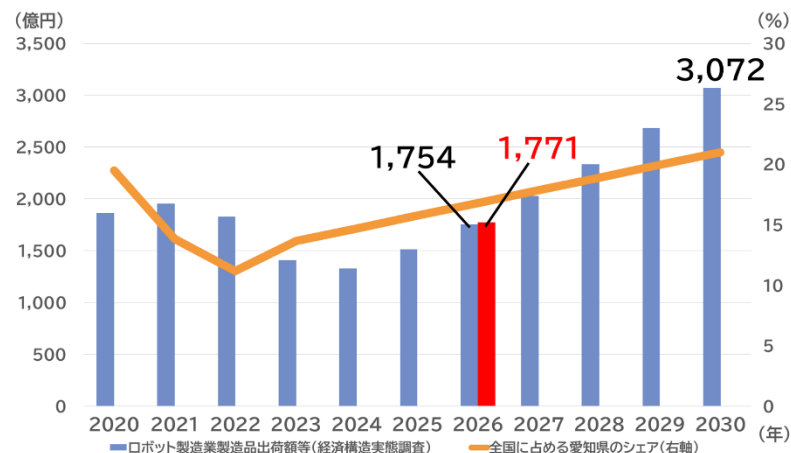
→新たにAIロボットの試行導入・実証支援事業を実施し、AIロボットの活用が期待される分野やユースケースを選定するとともに、実証・導入支援を通じて、県内産業へのAIロボットの社会実装を促進する。



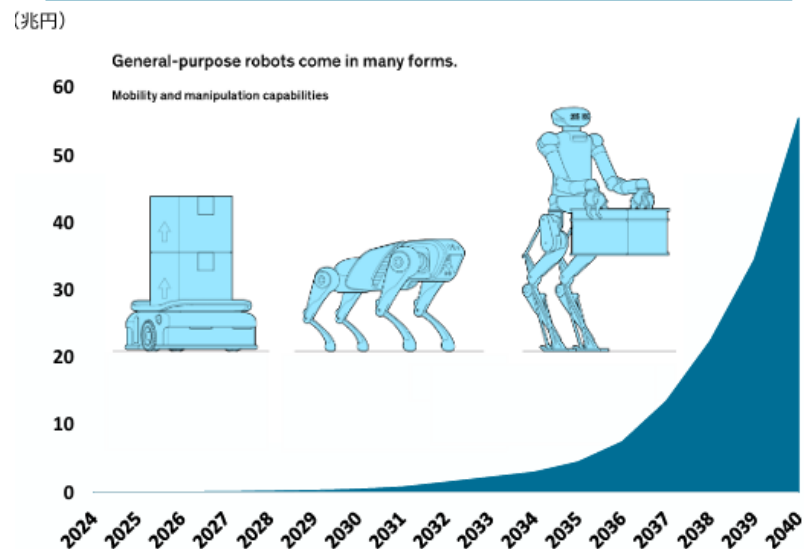
セミヒューマノイドロボット

©AGIRobots株式会社

COI：ロボット製造業の製造品出荷額等



多用途ロボット市場推移



(出典) マッキンゼー・アンド・カンパニー社

(注) ここでは多用途ロボットとして、ヒューマノイドや4足歩行型、モバイルマニピュレーターといった形態を念頭に置いている。

IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

03 | 観光関連産業の振興

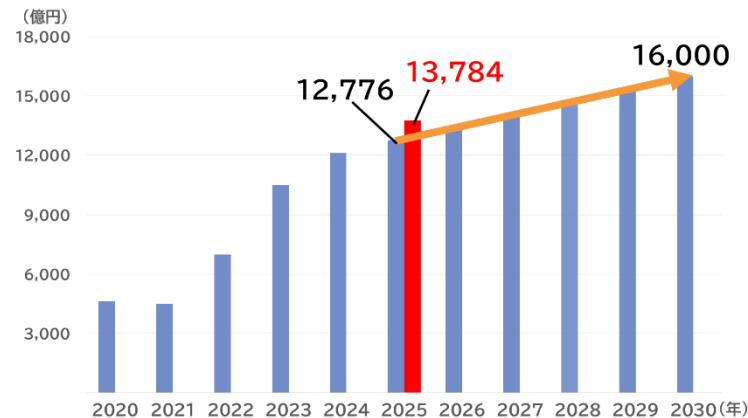
1. 観光需要の平準化に向けた取組
2. 観光関連産業の生産性向上・高付加価値化の推進
3. デジタルを活用した効果的なマーケティングの推進
4. 広域観光の推進

▶概要

- ・従来の「量」を重視した観光から、「質」を重視する観光への転換を図ることで、地域が観光によって収益を上げる力の向上に取り組んでいる。
- ・引き続き、観光消費額の向上に向けた取組を進めるとともに、国内外からの誘客に向けて市町村を始めとする関係者と連携し、効果的な施策を展開する。併せて、持続可能な観光地域づくりにも取り組んでいく。



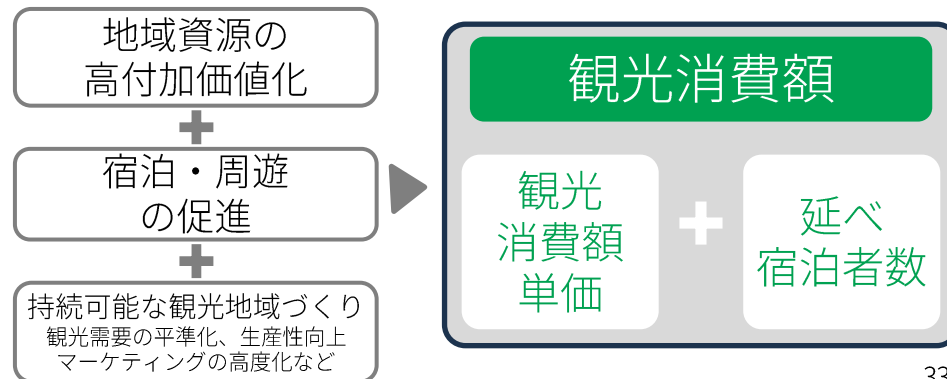
COI：観光消費額



▶課題・背景、今後の方針等

- ・県内各地への宿泊・周遊が十分に広がっていないことに加え、観光需要の繁閑差や人手不足、データの効果的な活用それぞれ課題がある。
- 地域資源の高付加価値化や広域観光により宿泊・周遊を促進する。併せて、観光需要の平準化、生産性向上及びマーケティングの高度化により、持続可能な観光地域づくりを進める。

＜観光消費額の拡大に向けた取組＞



IV あいちの未来を牽引する産業の進化と成長の加速

04 | 成長著しいデジタル関連産業を始めとする高付加価値な第三次産業等の振興・誘致

1. スタートアップや産学行政連携プロジェクト等による新産業の創出・振興
2. 高付加価値な第三次産業等の戦略的な企業誘致

▶概要

・成長著しいデジタル関連産業を始めとする高付加価値な第三次産業等の振興と戦略的な誘致を行うことで、将来を見据えた産業集積を中長期的な視点で着実に進めていく。

▶課題・背景、今後の方針等

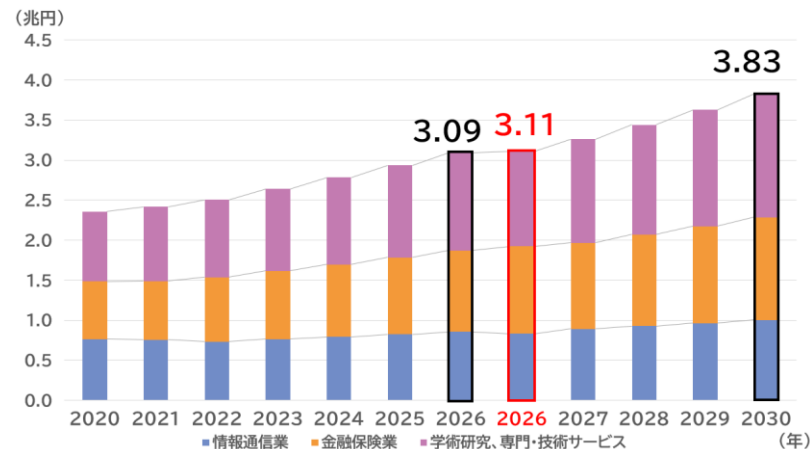
・各種企業立地支援施策により、製造業の新規立地や再投資の支援、ソフト系IT企業等に対して賃料等の一部を補助しているが、付加価値の高い第三次産業の企業誘致の重要性が増している。

→支援施策において、データセンターなど製造業以外の付加価値の高い第三次産業等を支援対象にできるか検討する。

・デジタル技術等の急速な進展に伴い産業構造が大きく変化する中、「あいちデジタルヘルスプロジェクト」等の産学行政連携プロジェクトの推進により取組を進めているものの、新たな産業の創出・振興を一層促進していく必要がある。

→産学行政連携によるイノベーション創出を一層推進するとともに、「地域産業クラスター計画」で設定した8分野（磁気・電子融合分野など）における取組の推進を通じて、新たな成長産業の創出等を図り、本県経済の持続的な成長につなげていく。

COI：高付加価値第三次産業の付加価値額



要素技術(例)

日本製磁石



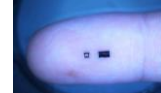
磁石回転子



マイクロコイル



磁気センサ



活用製品(例)

ロボット/ドローン/EV用モーター



デジタルアイ



脳とAI対話装置



磁気・電子融合分野のイメージ

中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

経営環境が目まぐるしく変化する中で、地域経済の重要な担い手である中小企業が持続的な成長と発展をしていくためには、“「稼ぐ力」の向上”、すなわち変化に柔軟に対応しながら競争力・収益力を高めていくことが重要。

地域の支援機関や国を始め中小企業支援に関わる様々なプレーヤーと連携し、地域全体で中小企業の稼ぐ力の向上につながる支援を実施し、地域経済の好循環と持続的な発展を目指す。

V 中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

取組の方向性一覧

01 稼ぐ力を支える経営基盤の強化

1. 経営者の意識変革や企業間連携の促進
2. 創業、取引先開拓、経営革新を始めとする総合的な経営支援
3. 人材の確保と定着への支援
4. 人材育成・技能継承への支援
5. 円滑な事業承継・引継ぎの支援
6. レジリエンスの強化
7. 適正な取引・適切な価格転嫁の促進

02 経営環境の変化への対応と既存ビジネスの進化を通じた稼ぐ力の向上

1. デジタル技術・ロボット技術の導入、DX、AI化の支援
2. 成長に向けた有形投資・無形投資の促進
3. 新製品・サービス開発、新規事業展開支援
4. 海外市場の取り込みを含めた新たな販路開拓の支援
5. スタートアップ等との協業によるイノベーションの創出
6. 中小企業の魅力発信によるブランド力向上

03 スケールアップを目指す企業への支援

1. 中小・中堅企業のスケールアップ支援

04 地域社会に根差した事業者への支援

1. 地域の商業・サービス業の振興と地域コミュニティの活性化
2. 地場産業や地域資源のブランディングと販路拡大
3. 地域課題解決事業の推進

05 中小企業の自立的成長を支える伴走支援体制の強化

1. 多様な課題解決に資する支援機関の高度化
2. 地域で連携した支援体制の強化

V 中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

01 | 稼ぐ力を支える経営基盤の強化

1. 経営者の意識変革や企業間連携の促進
2. 創業、取引先開拓、経営革新を始めとする総合的な経営支援
3. 人材の確保と定着への支援
4. 人材育成・技能継承への支援
5. 円滑な事業承継・引継ぎの支援
6. レジリエンスの強化
7. 適正な取引・適切な価格転嫁の促進

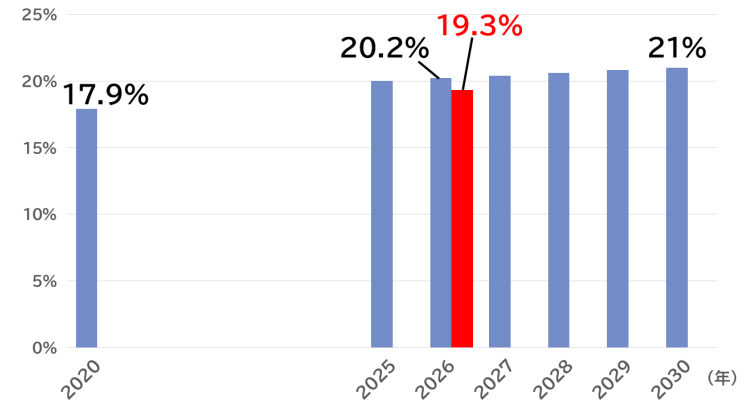
▶概要

- ・経営者自身で「経営の見える化」をすすめ、適切に経営課題を見極めていけるよう、経営者の意識改革と経営力の向上を促すとともに、各種経営課題に対応した支援を通じて、経営基盤の強化を後押ししていく。
- ・さらに、商工会・商工会議所などの支援機関や士業団体を始めとした多様な主体との連携により、中小企業の活躍を地域全体で力強く支えていく。

▶課題・背景、今後の方針等

- ・原材料費やエネルギー価格、人件費の上昇が続く中、中小企業では依然として十分な価格転嫁が進んでおらず、収益力の向上につなげていない。
 - 「適正な取引・価格転嫁を促し地域経済の活性化に取り組む共同宣言」団体と連携した取組を継続するとともに、受注者側が適切な価格転嫁を実現できるよう価格交渉の準備となる原価計算から支援していく。
- ・経営者の高齢化が進む一方で、後継者への支援が十分でなく、後継者が承継に向けた不安や孤立感を抱えている。
 - 後継者の経営力向上や支援機関も含めたコミュニティ構築を支援するとともに、支援の裾野拡大を図る。あわせて、事業の成果等の発信を通じて、事業承継を将来の選択肢として前向きに検討できる環境づくりを進める。

COI：中小企業の売上高付加価値比率



「適正な取引・価格転嫁を促し
地域経済の活性化に
取り組む共同宣言」宣言式



取引適正化・価格転嫁促進シンポジウム
2026



受け継ぐ者が、
道を拓く

愛知県中小企業後継者支援事業—AILE(エール)—
ロゴマーク・キャッチコピー

V 中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

02 | 経営環境の変化への対応と既存ビジネスの進化を通じた稼ぐ力の向上

1. デジタル技術・ロボット技術の導入、DX、AI化の支援
2. 成長に向けた有形投資・無形投資の促進
3. 新製品・サービス開発、新規事業展開支援
4. 海外市場の取り込みを含めた新たな販路開拓の支援
5. スタートアップ等との協業によるイノベーションの創出
6. 中小企業の魅力発信によるブランド力向上

▶概要

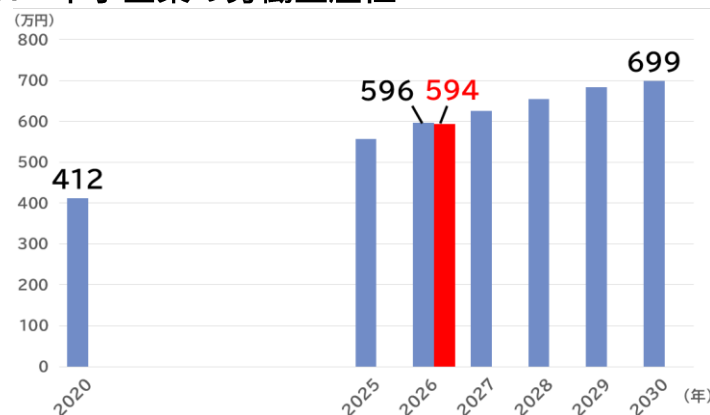
・デジタル技術の導入や有形・無形投資の促進、海外市場の開拓、スタートアップ等との協業を通じて、既存ビジネスの進化と経営の変革を通じて、中小企業の競争力強化と収益性の向上を後押しする。

▶課題・背景、今後の方針等

・本県中小企業においてはデジタイゼーション以下の企業割合が約80%の現状であり、デジタル技術等の導入支援を始めた生産性向上支援に取り組んでいく必要がある。

→ デジタル化未着手からDXまで、各企業の取組段階に応じた支援策を一気通貫で提供し、デジタル化・DXの推進を図る。また、AI等のデジタル技術を、製造業の工場や物流業の倉庫等の現場で活用する実証実験を通じて事例創出を促進する。

COI：中小企業の労働生産性



・愛知ブランド企業をはじめとするモノづくり中小・中堅企業において、新規事業創出やオープンイノベーションへの取組は一部にとどまっており、更なる裾野拡大が必要である。

→ 愛知ブランド企業のコミュニティ等を活用し、モノづくり企業のオープンイノベーションやSTATION Ai活用事例の共有を行うなど、機運醸成を図る。

また、オープンイノベーション手法や各分野の専門家を活用した伴走支援を実施することで、新規事業創出に挑戦する企業を後押しし、県内モノづくり企業の競争力強化につなげていく。



V 中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

03 | スケールアップを目指す企業への支援

1. 中小・中堅企業のスケールアップ支援

04 | 地域に根差した事業者への支援

1. 地域の商業・サービス業の振興と地域コミュニティの活性化
2. 地場産業や地域資源のブランディングと販路拡大
3. 地域課題解決事業の推進

▶概要

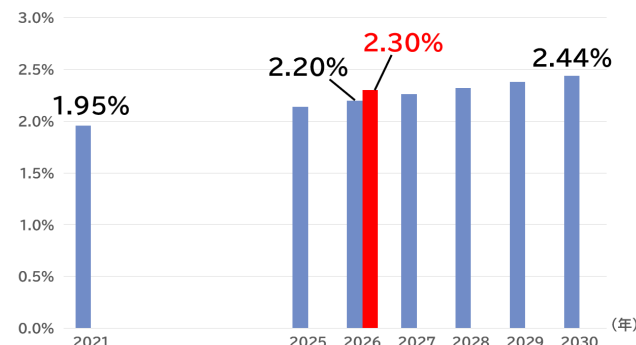
- ・中堅・中核企業のさらなるスケールアップを後押しするとともに、中小企業が中堅企業へと成長していくプロセスを支援することで、地域経済を牽引する企業層の厚みを増し、持続的な成長と稼ぐ力の強化につなげていく。
- ・商業・サービス業の振興、地場産業のブランディング、地域課題解決事業の支援を通じて、それぞれの目指すべき姿の実現と地域の稼ぐ力の底上げを図る。

▶課題・背景、今後の方針等

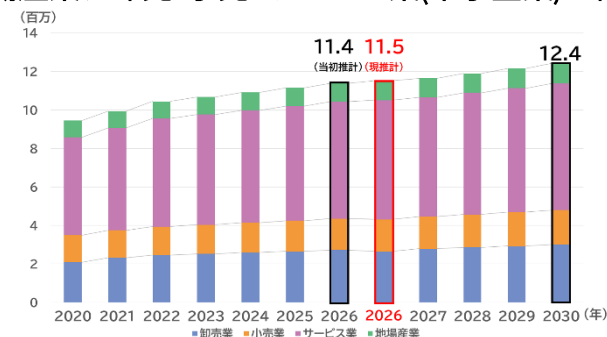
- ・あいちサービス大賞は、2027年度で10年の節目を迎えるが、受賞後のフォローアップや受賞企業に対するインセンティブが十分とは言えず、受賞事例の横展開やサービス産業全体の底上げ効果が限定的となっている。

→今後は受賞サービスの先進事例を広くPRするセミナーの開催や、展示会への出展支援を実施するなど、受賞企業の成長や販路拡大を後押しすることにより、優秀な成功事例の横展開をさらに促進し、県内サービス産業全体の生産性向上や競争力強化を図っていく。

COI：従業員100名以上企業割合



COI：地場産業、卸売・小売・サービス業(中小企業)の付加価値額



- ・地域社会に根差した事業者は中小・零細企業が多く、若手人材の確保や熟練技術の継承が進んでいない。

また、海外製品との価格競争の激化により、差別化に向けた高付加価値化や販路開拓が求められている。

→若手人材の確保に向けた支援を行うとともに、地場産業や地域資源の魅力を引き出し、ブランディングや販路開拓を支援することで、事業者による地域の強みを活かした競争力ある商品・サービスの展開を後押しする。

V 中小・小規模企業の稼ぐ力の向上

05 | 中小企業の自立的成長を支える伴走支援体制の強化

1. 多様な課題解決に資する支援機関の高度化
2. 地域で連携した支援体制の強化

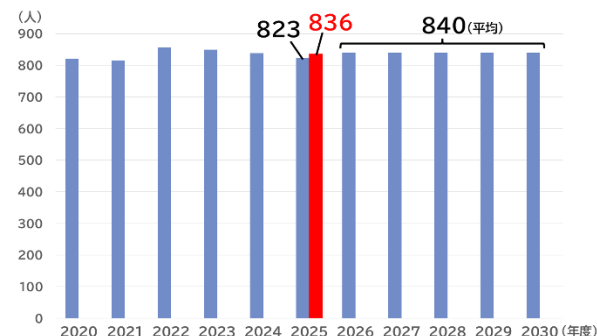
▶概要

- ・支援機関のスキル向上と地域連携による伴走支援体制の整備を通じて、企業の課題解決力を高め、持続的な成長と稼ぐ力の向上を支えていく。

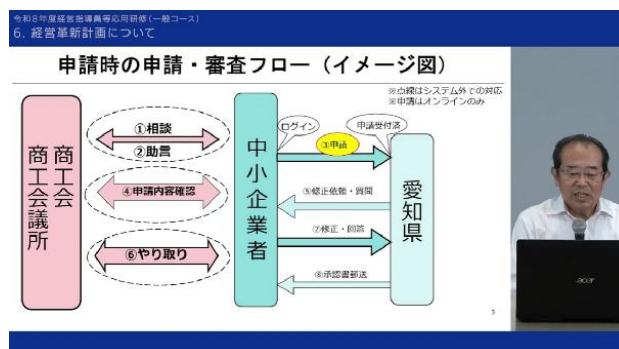
▶課題・背景、今後の方針等

- ・事業者が抱える経営課題の多様化・専門化に伴い、支援機関には専門的・先進的な知識に加え個別の課題に対応可能な高度な支援能力が求められている。
 - 事業者支援に必要な専門能力・知識習得のため、実践的な外部研修の受講機会拡大や内部研修のカリキュラム見直しを図り、支援機関の高度化・支援スキル向上につなげる。

COI：支援機関向け研修等の受講者数



商工会役職員等に向けた研修
(対面開催)



経営指導員等に向けた研修
(WEB開催)



中小企業大学校瀬戸校での外部研修
(派遣研修)